

市立千歳市民病院中期経営計画
実施状況の点検・評価について(案)

(平成 28 年度)

平成 29 年 8 月

市立千歳市民病院経営懇話会

目 次

1	市立千歳市民病院中期経営計画の目標・視点	1
2	実施状況の点検・評価	
(1)	「経営指標」等の点検・評価	1
(2)	「具体的な行動計画」の点検・評価	4
(3)	評価結果集計	9
3	総評	9

(資 料)

資料1	収支計画に対する平成28年度決算の状況	11
資料2	収支計画に対する決算額の主な項目の増減理由	13
資料3	数値目標の中期経営計画との比較	15
資料4	経営指標年度推移	17
資料5	行動計画の具体的取組事項の詳細	19
	①地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化	20
	②安全で安心できる医療の推進	27
	③医療・看護の質の向上とチーム医療の推進	32
	④効率的な病院運営の推進	40
	⑤医療従事者の勤務環境等の充実	52
資料6	市立千歳市民病院経営懇話会設置要綱	54
資料7	市立千歳市民病院経営懇話会委員等名簿	56

市立千歳市民病院中期経営計画の実施状況の点検・評価

1 市立千歳市民病院中期経営計画の目標・視点

市立千歳市民病院中期経営計画（以下「中期経営計画」という。）では、『患者が「安心・安全な医療」を受けられるよう医療の質の向上を図るとともに、経常収支の黒字を維持し、経営の効率化に努める』ことを目標とし、その達成に向けた5つの視点を定め、具体的な取組を進めます。

本計画では、目標の達成に向け、8つの主要な「経営指標」や収支状況について、年度ごとの数値目標を設定するとともに、5つの視点に基づく34項目にわたる「具体的な行動計画」を定めています。

【目標】

『患者が「安心・安全な医療」を受けられるよう医療の質の向上を図るとともに、経常収支の黒字を維持し、経営の効率化に努めます。』

【視点】

- ① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化
- ② 安全で安心できる医療の推進
- ③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進
- ④ 効率的な病院運営の推進
- ⑤ 医療従事者の勤務環境等の充実

2 実施状況の点検・評価

(1) 「経営指標」等の点検・評価

中期経営計画における平成28年度の収支状況及び数値目標の達成状況について、次の基準により評価を行いました。

① 評価基準

評価の方法は、毎年度の収支状況及び各実績数値から、目標の達成について「A」～「D」の4段階で評価します。

達成度		評価の考え方
評価	区分	
A	目的達成	計画と比較し、100%以上の実績となった。
B	目的未達成	計画と比較し、90%以上100%未満の実績となった。
C		計画と比較し、80%以上90%未満の実績となった。
D		計画と比較し、80%未満の実績となった。

②収支状況の点検・評価

区分	項目	平成 28 年度 計画 (千円)	平成 28 年度 決算 (千円)	増減	達成率 (%)	評価
収入	医業収益	5,447,605	5,265,276	▲182,329	96.7	B
	うち入院収益	3,323,155	3,011,492	▲311,663	90.6	B
	うち外来収益	1,493,279	1,551,870	58,591	103.9	A
	医業外収益	596,156	668,422	72,266	112.1	A
	経常収益	6,043,761	5,933,698	▲110,063	98.2	B
支出	医業費用	5,671,065	5,688,802	17,737	99.7	B
	うち職員給与費	2,517,121	2,580,515	63,394	97.5	B
	うち材料費	1,175,209	1,108,125	▲67,084	106.1	A
	医業外費用	341,899	296,587	▲45,312	115.3	A
	経常費用	6,012,964	5,985,389	▲27,575	100.5	A
経常損益		30,797	▲51,691	▲82,488	▲167.8	D

※詳細については、P11、P12の資料1 収支計画に対する平成28年度決算の状況及びP13、P14の資料2 収支計画に対する決算額の主な項目の増減理由を参照

平成28年度経常損益決算額は、5,169万1千円の経常赤字となっています。

収入・支出別に主な項目を見ますと、収入のうち医業収益においては、入院収益が計画では33億2,315万5千円を予定していましたが、入院患者数の減少などにより、決算では30億1,149万円2千円となり、計画を3億1,166万3千円下回り、達成率は90.6%となっています。

一方、外来収益においては、計画では14億9,327万9千円を予定していましたが、外来患者数が減少したものの患者1人1日当たり診療収入（外来）が増加したことなどにより、決算では15億5,187万円となり、計画を5,859万1千円上回り、達成率は103.9%となっています。

また、医業外収益においては、計画では5億9,615万6千円を予定していましたが、一般会計負担金・補助金の増加などにより、決算では6億6,842万2千円となり、計画を7,226万6千円上回り、達成率は112.1%となっています。

この結果、経常収益については、決算では59億3,369万8千円となり、計画の60億4,376万1千円を1億1,006万3千円下回り、達成率は98.2%となっています。

このことから、収入では5項目のうち外来収益及び医業外収益の評価は「A」、医業収益、入院収益及び経常収益の評価は「B」となります。

支出においては、医業費用のうち職員給与費が計画では25億1,712万1千円を予定していましたが、退職給付費の増加などにより、決算では25億8,051万5千円となり、

計画を 6,339 万 4 千円上回り、達成率は 97.5%、材料費においては、計画では 11 億 7,520 万 9 千円を予定していましたが、入院患者数の減少等に伴う薬品・診療材料の使用量の減少やコスト縮減の取組などにより、決算では 11 億 812 万 5 千円となり、計画を 6,708 万 4 千円下回り、達成率は 106.1%となっています。

また、医業外費用においても、計画では 3 億 4,189 万 9 千円を予定していましたが、控除対象外消費税の減少などにより、決算では 2 億 9,658 万 7 千円となり、計画を 4,531 万 2 千円下回り、達成率は 115.3%となっています。

この結果、経常費用については、決算では 59 億 8,538 万 9 千円となり、計画の 60 億 1,296 万 4 千円より 2,757 万 5 千円下回り、達成率は 100.5%となっています。

このことから、支出では 5 項目のうち材料費、医業外費用及び経常費用の評価は「A」、医業費用及び職員給与費の評価は「B」となります。

経常損益については、計画では 3,079 万 7 千円の利益（黒字）を予定していましたが、決算では 5,169 万 1 千円の損失（赤字）を計上したことから、計画と比べ 8,248 万 8 千円の減益となり、達成率は▲167.8%となったことから、評価が「D」となります。

③数値目標の点検・評価

項目	平成 28 年度 計画	平成 28 年度 決算	達成率 (%)	評価
経常収支比率 (%)	100.5	99.1	98.6	B
病床利用率 (%)	83.7	79.2	94.6	B
1 日平均患者数 (入院) (人)	159.0	150.5	94.7	B
1 日平均患者数 (外来) (人)	694.6	690.5	99.4	B
職員給与費対医業収益比率 (%)	46.2	49.0	94.3	B
材料費対医業収益比率 (%)	21.6	21.0	102.9	A
患者 1 人 1 日当たり診療収入 (入院) (円)	57,279	54,821	95.7	B
患者 1 人 1 日当たり診療収入 (外来) (円)	8,810	9,249	105.0	A

※詳細については、P15、P16 の資料 3 数値目標の中期経営計画との比較及び P17、P18 の資料 4 経営指標年度推移を参照

経営の効率化・安定化に向け計画年度ごとに設定されている 8 つの数値目標の評価については、「材料費対医業収益比率」、「患者 1 人 1 日当たり診療収入 (外来)」の 2 項目が目標を達成しており、「A」評価となっています。

一方、「経常収支比率」、「病床利用率」、「1 日平均患者数 (入院)」、「1 日平均患者数 (外来)」、「職員給与費対医業収益比率」、「患者 1 人 1 日当たり診療収入 (入院)」の 6 項目については、目標の達成に至らず「B」評価となっています。

目標を達成した2項目のうち、「材料費対医業収益比率」の減少については、入院患者数の減少等に伴う薬品・診療材料の使用量の減少やコスト縮減の取組などにより、計画に比べ医業収益に対する材料費の割合が減少したことによるものです。

「患者1人1日当たり診療収入（外来）」の増加については、効率的な医療の提供、さらには地域医療機関との患者の紹介・逆紹介に伴う高度な検査や治療を必要とする患者の増加などにより、計画と比べ患者1人1日あたりの診療収入が増加したことによるものです。

また、目標達成に至らなかった6項目のうち、「経常収支比率」の減少については、計画と比べ経常収益が1億1,006万3千円の減少、経常費用が2,757万5千円の減少となり、経常費用より経常収益の方が多く減少したことによるものです。

「病床利用率」及び「1日平均患者数（入院）」の減少については、計画と比べ入院患者数が減少したことによるものです。

「1日平均患者数（外来）」の減少については、計画と比べ外来患者数が減少したことによるものです。

「職員給与費対医業収益比率」の増加については、退職給付費の増加などにより、計画と比べ医業収益に対する職員給与費の割合が増加したことによるものです。

「患者1人1日当たり診療収入（入院）」の減少については、入院患者数の減少などにより、計画と比べ患者1人1日あたりの診療収入が減少したことによるものです。

(2) 「具体的な行動計画」の点検・評価

中期経営計画における平成28年度の具体的な行動計画の達成状況について、次の基準により評価を行いました。

①把握の方法

5つの視点に基づく取組事項34項目については、所管する担当部署に照会し、進捗状況を確認します。

②評価基準

評価の方法は、「取組は計画どおり進捗（実施）しているか。」の視点で、「A」～「C」の3段階で評価します。

また、取組が終了したものは、「完」と表します。

達成度		評価の考え方
評価	区分	
A	実施中	<ul style="list-style-type: none"> 取組は概ね良好と考えており、計画どおり実施している。 取組内容の効率化や手段に見直し等を行い、継続している。
B	一部実施中	<ul style="list-style-type: none"> 取組の一部が遅れている。 取組の一部が未実施である。
C	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 計画したが取組が未だ未実施である。
完	完了・終了	<ul style="list-style-type: none"> 取組の計画期間満了により、終了したものの。

③行動計画の点検・評価

具体的な取組事項	評価
① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化	
1 地域医療連携の充実	A
2 救急体制の充実	A
3 診療機能の強化	A
4 地域医療に必要な病床区分の設定	A
5 介護・保健・福祉機関との連携強化	A
6 情報発信体制の強化	A
7 災害に対する機能強化	A
② 安全で安心できる医療の推進	
8 医療安全管理の充実	A
9 患者参加型医療の推進	A
10 患者サービスの向上	A
11 看護技能の向上	A
12 設備の改良・充実	A
③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進	
13 職員の資質向上	A
14 職種間の連携推進	A
15 医師・看護師など医療スタッフの確保	A
16 医師事務作業補助者の充実	A
17 クリニカル・インディケータの充実	A
18 クリニカルパスの推進	A
19 患者満足度調査の実施	A
20 認定病院の水準維持・向上	A
④ 効率的な病院運営の推進	
21 組織体制の見直し	A
22 適正な診療報酬の確保	A
23 増収対策の実施	A
24 病床の効率的な運用	A

25	経営分析の強化	B
26	医薬品・診療材料の購入・管理体制の強化	A
27	TQM 活動の推進	A
28	省エネルギー対策の推進	A
29	内部管理経費の節減	A
30	医療機器の計画的な導入	A
31	医療情報システムの更新	A
32	施設・設備の計画的な修繕	A
⑤ 医療従事者の勤務環境等の充実		
33	職員満足度の向上	A
34	勤務環境の改善	A

※詳細については、P19～P53 資料 5 行動計画の具体的な取組事項の詳細を参照

＜ 行動計画 ～平成 28 年度の主な取組～ ＞

中期経営経計画において示されている目標達成に向けた具体的な行動計画のうち、平成 28 年度の主な取組については、次のとおりとなっています。

「1 地域医療連携の充実」「31 医療情報システムの更新」

市民病院では、医療情報の共有化、患者へのサービス向上、医療の安全性向上等を目指し、平成 21 年度から電子カルテ等を導入しております。

平成 28 年度は、診療案内システムや診察券発行機の更新等を行ったほか、地域連携ネットワークシステムを導入しました。

地域連携ネットワークシステムは、地域の医療機関や調剤薬局、介護事業所などの各関係機関とネットワークを活用して、市民病院の電子カルテ（オーダー、検査結果、画像、レポート、プロフィール等）にある患者の診療情報を共有することができます。

平成 29 年度は、地域連携ネットワークシステムによる千歳市及び近郊地域の医療介護連携ネットワーク「ちえネット」を本格的に運用し、各関係機関の多職種による質の高い医療や介護サービスの提供により、患者が地域で安心して生活できる地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

「2 救急体制の充実」

救急告示病床を有する地域の基幹病院として、内科系と外科系は、継続して 1 次・2 次救急を行っており、内科系の 1 次救急は開業医師との連携により実施しています。

また、循環器科と脳神経外科は、年間を通じて 2 次救急に対応するなど、継続して重症患者の対応を中心とした救急医療体制を確保しています。

小児科では、平日及び日曜日の1次救急を行うほか、年間を通じて2次救急に対応しています。

平成28年度の救急外来患者数は8,099人となっており、救急体制の維持及び充実に取り組んでいます。

平成29年度は、千歳市において内科系1次救急を行う「千歳市休日夜間急病センター」が、平成29年9月に開設され救急医療体制が強化されますが、市民病院においても2次救急医療機関として、「千歳市休日夜間急病センター」との連携強化に努めます。

「4 地域医療に必要な病床区分の設定」

国は、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となる平成37年(2025年)を見据え、医療機関の機能分化をはじめ、医療・介護の連携強化、在宅医療の充実に取り組んでいます。

北海道においては、平成28年12月に「北海道医療計画[改訂版](別冊)ー北海道地域医療構想ー」を策定し、地域における将来のあるべき医療提供体制の実現を目指すこととしています。

このような状況を踏まえ、市民病院では一部の病床を地域包括ケア病床に転換し、平成29年3月から運用を開始しており、急性期治療後のリハビリテーション・在宅復帰支援など、2025年に向けた病床機能の充実に取り組んでいます。

「15 医師・看護師など医療スタッフの確保」

全国各地で深刻な医師不足が続く中、市民病院は地域における基幹病院としての役割を果たすため、大学医局への働きかけや市民病院ホームページでの募集、リクルート雑誌を活用した募集広告の掲載やメールマガジンの配信、医師紹介会社の活用など、継続した医師確保対策に取り組んでいます。

平成28年度は、泌尿器科医師を1名増員して2名体制となり、平成28年7月から腎臓外来を開設して、慢性腎不全患者に対する血液透析治療や腹膜透析治療、腎移植の説明と実施施設への紹介等計画的な治療に積極的に取り組んでいます。

「20 認定病院の水準維持・向上」

医療への信頼と質の向上をより高めることを目的として、平成28年10月27日から28日までの2日間にわたり公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価「3rdG:Ver.1.1」の訪問審査を受審し、平成29年2月に認定されました。

審査結果は、審査対象となる86項目のうち、「秀でている」のS評価が1項目、「適切に行われている」のA評価が83項目、「一定の水準に達している」のB評価が2項目の高評価を得ています。

市民病院では、平成18年度に初めての認定(Ver.5.0)後、平成23年度に認定更新(Ver.6.0)し、今回は3度目の認定となり、継続して質の高い医療の提供と医療機能維持・向上に取り組んでいます。

「25 経営分析の強化」

効率的な病院運営を推進するため、在庫管理の徹底や後発医薬品の採用拡大など、費用の節減に向けた取組を継続するほか、新たに経営分析等に有効なシステムを導入しました。

また、国が示す「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成 29 年 3 月に中期経営計画を改訂し、現計画の取組に新たな視点となる「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を加え、計画内容の精査のほか、新たに「医業収支比率」を加えた 9 つの経営指標と「常勤医師数」「紹介率」「逆紹介率」の 3 つの医療機能等指標に対し数値目標を設定するとともに、行動計画においては新たに「地域包括ケアシステムへの取組」を加えた 35 項目を設定し、経常収支の黒字化に取り組めます。

①手術部門原価管理システムの導入

平成 28 年度は、病院において収益性の高い部門である手術部門の収支状況を 1 術式ごとに掘り下げて、可視化や分析を行うことが可能となる「手術部門原価管理システム」の導入に向け、準備作業や活用方法の検討などを行いました。

平成 29 年度は、本システムを本格的に活用し、作業の効率化、採用材料の適正化・合理化、医療スタッフのコスト意識の向上等に向けた取組を推進します。

②医療材料ベンチマークシステムの運用

平成 28 年度は、全国他施設の購入価格等との比較や分析を行うことができる「ベンチマークシステム」を本格的に活用し、価格交渉力の強化と採用材料の適正化を図ることにより、診療材料費の削減に取り組んでいます。

「33 職員満足度の向上」

病院運営に対する貢献度や業務実績を適正に評価し、その結果を人事管理等に活用することにより、医療職のモチベーションと経営参画意識を高めるとともに、個々の資質や意欲を最大限に引き出し、より安全で質の高い医療の提供を図ることを目的として、医師において、平成 24 年から道内の自治体病院に先駆けて、行動評価と業績評価による「医師人事評価制度」を本格導入しました。

医師以外の医療職においては、平成 27 年度に制度を構築し、平成 28 年度から「医師以外の医療職人事評価制度」を本格導入しており、職員がやりがいを持って働ける職場環境に取り組んでいます。

(3) 評価結果集計

評価区分別に見ると、全 53 項目のうち「A」評価が 40 項目、「B」評価が 12 項目、「D」評価が 1 項目となっています。

項 目	評 価 区 分					
	A	B	C	D	完	計
収支状況 (11 項目)	5	5	-	1		11
数値目標 (8 項目)	2	6	-	-		8
行動計画 (34 項目)	33	1	-		-	34
合 計	40	12	-	1	-	53

3 総評

平成 28 年度は、入院患者数の減少に伴い、入院収益が大幅に減少したことにより、「経常損益」については計画に対して 8,248 万 8 千円下回る 5,169 万 1 千円の損失となったことから、早急に黒字達成に向けた取組が必要です。

収入においては、外来患者数が減少したものの、患者 1 人 1 日当たりの診療収入が増加するなど外来収益が増加した一方で、入院患者数の減少などにより入院収益が大幅に減少し、支出においては、退職給付費の増加などにより職員給与費が増加した一方で、入院患者数の減少等に伴う薬品・診療材料の使用量の減少やコスト縮減の取組による材料費の減少など費用の縮減が図られていることから、今後は、地域包括ケア病床や地域連携ネットワークシステムを活用しながら、収支が悪化した主な原因となっている入院患者数の確保とともに、引き続きコスト縮減に向けた具体的な取組が必要と考えます。

行動計画においては、取組事項 34 項目のうち 33 項目が A 評価となり、目標達成に向け具体的な取組が強く推進されていることを評価しますが、平成 27 年度から 2 年連続の経常収支赤字となり、医療の質向上とともに赤字解消に向けた取組を行動計画の中で実践し、経営の効率化・安定化を図ることが求められます。

国においては、医療費の増大や深刻な医師不足が続き、医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況の中、国が示す「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成 29 年 3 月に中期経営計画を改訂し、内容を精査したほか、新たに「医業収支比率」「常勤医師数」「紹介率」「逆紹介率」の 4 つの指標と具体的な行動計画として「地域包括ケアシステムへの取組」を設定しており、医師確保と地域医療連携の強化に向けた強い姿勢がうかがえ、収支計画においては、改訂初年度となる平成 29 年度から経常収支黒字を目指すこととしております。

今後も、病院理念「より質の高い 心あたたまる医療の実現」に向け、地域の基幹病院として必要な医療提供体制の確保と健全で安定した経営基盤の確立に努め、持続可能な病院運営を図られることを期待します。

資 料

資料 1 収支計画に対する平成 28 年度決算の状況

〈収益的収支〉

(単位：千円)

区 分		28年度計画額 A	28年度決算額 B	増減 B-A	(参考)27年度決算額 C	(参考)増減 B-C	
収入	1 医業収益	5,447,605	5,265,276	▲ 182,329	5,185,768	79,508	
	(1) 料金収入	4,816,434	4,563,362	▲ 253,072	4,532,238	31,124	
	入院収益	3,323,155	3,011,492	▲ 311,663	2,947,990	63,502	
	外来収益	1,493,279	1,551,870	58,591	1,584,248	▲ 32,378	
	(2) その他収益	631,171	701,914	70,743	653,530	48,384	
	うち他会計負担金	356,693	393,748	37,055	359,342	34,406	
	2 医業外収益	596,156	668,422	72,266	610,817	57,605	
	(1) 他会計負担金・補助金	527,575	587,452	59,877	530,999	56,453	
	(2) 国(道)補助金	2,033	2,686	653	2,374	312	
	(3) その他	66,548	78,284	11,736	77,444	840	
	経常収益	6,043,761	5,933,698	▲ 110,063	5,796,585	137,113	
	支出	1 医業費用	5,671,065	5,688,802	17,737	5,537,848	150,954
		(1) 職員給与費	2,517,121	2,580,515	63,394	2,455,571	124,944
		(2) 材料費	1,175,209	1,108,125	▲ 67,084	1,094,398	13,727
(3) 経費		1,365,185	1,414,820	49,635	1,403,311	11,509	
(4) 減価償却費		538,884	525,535	▲ 13,349	523,891	1,644	
(5) その他		74,666	59,807	▲ 14,859	60,677	▲ 870	
2 医業外費用		341,899	296,587	▲ 45,312	301,074	▲ 4,487	
(1) 支払利息		116,983	114,652	▲ 2,331	121,350	▲ 6,698	
(2) その他		224,916	181,935	▲ 42,981	179,724	2,211	
経常費用		6,012,964	5,985,389	▲ 27,575	5,838,922	146,467	
経常損益		30,797	▲ 51,691	▲ 82,488	▲ 42,337	▲ 9,354	
特別損益	1 特別利益	8,100	10,519	2,419	7,766	2,753	
	2 特別損失	8,100	7,393	▲ 707	7,372	21	
	特別損益	0	3,126	3,126	394	2,732	
純損益		30,797	▲ 48,565	▲ 79,362	▲ 41,943	▲ 6,622	
累積欠損金		2,881,430	2,907,143	25,713	2,858,578	48,565	
内部留保資金		1,818,983	1,633,608	▲ 185,375	1,675,612	▲ 42,004	

〈資本的収支〉

(単位：千円)

区 分		28年度計画額 A	28年度決算額 B	増減 B - A	(参考)27年度決算額 C	(参考)増減 B - C
収入	企業債	50,000	50,000	0	50,000	0
	他会計出資金	0	0	0	0	0
	寄付金	100	0	▲ 100	0	0
	国(道)補助金	0	14,938	14,938	2,743	12,195
	固定資産売却代金等	1	0	▲ 1	0	0
	収入計	50,101	64,938	14,837	52,743	12,195
支出	建設改良費	249,072	219,706	▲ 29,366	192,067	27,639
	企業債償還費	385,970	385,969	▲ 1	379,902	6,067
	その他	0	0	0	0	0
	支出計	635,042	605,675	▲ 29,367	571,969	33,706
差引不足額		▲ 584,941	▲ 540,737	44,204	▲ 519,226	▲ 21,511
財補 源項	損益勘定留保資金	584,941	540,737	▲ 44,204	519,226	21,511
実質財源不足額		—	—	—	—	—

資料2 収支計画に対する決算額の主な項目の増減理由

(単位：千円)

項 目		計画額 A	決算額 B	増減 B-A
収入	医業収益	3,323,155	3,011,492	▲ 311,663
		【主な増減理由】 ■入院患者数等の減 ・入院患者数：58,017人→54,933人(▲3,084人) [主な診療科] 外科：4,773人→3,598人(▲1,175人) 整形外科：11,383人→8,467人(▲2,916人) 産婦人科：4,039人→5,732人(+1,693人) ・1日平均患者数：159.0人/日→150.5人/日(▲8.5人) ・病床利用率：83.7%→79.2%(▲4.5%) ■患者1人1日当たり診療収入(入院)の減 : 57,279円→54,821円(▲2,458円)		
		1,493,279	1,551,870	58,591
	外来収益	【主な増減理由】 ■外来患者数等の減 ・外来患者数：169,479人→167,796人(▲1,683人) [主な診療科] 内科：21,960人→24,781人(+2,821人) 循環器科：14,640人→17,339人(+2,699人) 整形外科：19,520人→18,386人(▲1,134人) 眼科：13,420人→10,278人(▲3,142人) 皮膚科：17,080人→14,671人(▲2,409人) ・1日平均患者数：694.6人/日→690.5人/日(▲4.1人/日) ■患者1人1日当たり診療収入(外来)の増 : 8,810円→9,249円(+439円)		
その他収益	631,171	701,914	70,743	
		【主な増減理由】 ■一般会計負担金の増 ・救急医療業務負担金：331,542千円→366,453千円(+34,911千円) ・保健衛生行政事務負担金：25,151千円→27,295千円(+2,144千円) ■公衆衛生活動収益の増 ・各種健診(検診)：98,775千円→119,693千円(+20,918千円) [実施件数]8,444件→8,962件(+518件) ■医療相談収益の増 ・妊婦健診・乳幼児健診：66,768千円→70,438千円(+3,670千円) [実施件数]6,131件→6,801件(+670件)		
医業外収益	596,156	668,422	72,266	
		【主な増減理由】 ■一般会計負担金の増 ・企業債償還利子負担金：85,550千円→76,368千円(▲9,182千円) ・小児医療業務負担金：0千円→23,633千円(皆増) ・高度医療増嵩費負担金：230,801千円→248,162千円(+17,361千円) ・退職手当負担金：0千円→14,608千円(皆増) ■一般会計補助金の増 ・医師確保対策経費補助金：70,932千円→97,560千円(+26,628千円) ・共済組合追加費用補助金：35,740千円→22,496千円(▲13,244千円)		

(単位：千円)

項 目		計画額 A	決算額 B	増減 B - A
支出	職員給与費	2,517,121	2,580,515	63,394
		【主な増減理由】 ■職員数の増及び給与改定等による退職給付費の増 ・退職給付費：80,300千円→143,267千円(+62,967千円)		
	材料費	1,175,209	1,108,125	▲ 67,084
		【主な増減理由】 ■入院患者数の減及び価格縮減の取組等による薬品費・診療材料費の減 ・薬品費：496,093千円→460,959千円(▲35,134千円) ・診療材料費：679,116千円→647,166千円(▲31,950千円)		
	経費 減価償却費 その他	1,978,735	2,000,162	21,427
		【主な増減理由】 ■経費の増 ・診療体制の確保等による出張医報酬の増 ：157,357千円→220,594千円(+63,237千円) ・臨時職員の減による賃金の減 ：219,070千円→212,844千円(▲ 6,226千円) ・その他の経費(施設修繕費等)の減 ：954,153千円→946,929千円(▲ 7,224千円) ■器械備品等の入札差金による減価償却費の減 ：538,884千円→525,535千円(▲13,349千円) ■その他の減 ・固定資産除却費：13,819千円→ 5,377千円(▲8,442千円) ・研究研修費：30,401千円→25,809千円(▲4,592千円)		
医業外費用	341,899	296,587	▲ 45,312	
	【主な増減理由】 ■雑損失の減 ・控除対象外消費税：199,878千円→157,288千円(▲42,590千円)			

資料3 数値目標の中期経営計画との比較

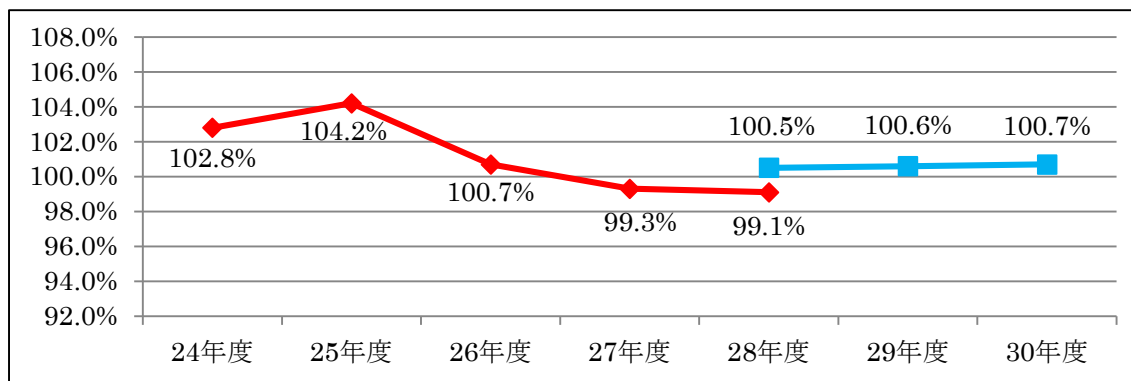
経営指標	28年度 計画 A	28年度 決算 B	増 減 B-A	(参考)		
				27年度実績 C	増 減 B-C	30年度 計画目標
経常収支比率(%)	100.5	99.1	▲ 1.4	99.3	▲ 0.2	100.7
費用に対する収益の割合を示し、企業の経営状況を表す。100%以上が単年度経常黒字、100%未満が単年度経常赤字である。 [経常収益/経常費用×100]	<p>【主な増減理由】</p> <p>■経常収益及び経常費用の減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常収益：6,043,761千円→5,933,698千円(▲110,063千円) <ul style="list-style-type: none"> [医業収益の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 入院収益(▲311,663千円)、外来収益(+58,591千円)、 一般会計負担金(+37,055千円) [医業外収益の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 一般会計会計負担金・補助金(+59,877千円) ・経常費用：6,012,964千円→5,985,389千円(▲27,575千円) <ul style="list-style-type: none"> [医業費用の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 職員給与費(+63,394千円)、材料費(▲67,084千円) [医業外費用の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 雑損失(▲42,590千円) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100~199床) : 98.1% 平成27年度全国黒字自治体病院平均(100~199床) : 107.1% 平成27年度全国赤字自治体病院平均(100~199床) : 93.6%</p>					
病床利用率(%)	83.7	79.2	▲ 4.5	73.7	5.5	83.9
病床数のうち利用された病床数の割合を示す。 [1日平均入院患者数/190床×100]	<p>【主な増減理由】</p> <p>■1日平均入院患者数の減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・159.0人→150.5人(▲8.5人) <ul style="list-style-type: none"> [1日平均入院患者数(診療科別)の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 外科 : 13.1人→9.9人(▲3.2人) 整形外科 : 31.2人→23.2人(▲8.0人) 産婦人科 : 11.1人→15.7人(+4.6人) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100~199床) : 66.7% 平成27年度全国黒字自治体病院平均(100~199床) : 68.2% 平成27年度全国赤字自治体病院平均(100~199床) : 65.8%</p>					
1日平均患者数(入院)(人)	159.0	150.5	▲ 8.5	140.0	10.5	159.4
1日当たりの入院患者数を示す。 [年延入院患者数/年診療日数]	<p>【主な増減理由】</p> <p>■入院患者数の減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・58,017人→54,933人(▲3,084人) <ul style="list-style-type: none"> [入院患者数(診療科別)の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 外科 : 4,773人→3,598人(▲1,175人) 整形外科 : 11,383人→8,467人(▲2,916人) 産婦人科 : 4,039人→5,732人(+1,693人) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100~199床) : 100人 平成27年度全国黒字自治体病院平均(100~199床) : 99人 平成27年度全国赤字自治体病院平均(100~199床) : 101人</p>					
1日平均患者数(外来)(人)	694.6	690.5	▲ 4.1	714.8	▲ 24.3	694.6
1日当たりの外来患者数を示す。 [年延外来患者数/年診療日数]	<p>【主な増減理由】</p> <p>■外来患者数の減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・169,479人→167,796人(▲1,683人) <ul style="list-style-type: none"> [外来患者数(診療科別)の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 内科 : 21,960人→24,781人(+2,821人) 循環器科 : 14,640人→17,339人(+2,699人) 整形外科 : 19,520人→18,386人(▲1,134人) 眼科 : 13,420人→10,278人(▲3,142人) 皮膚科 : 17,080人→14,671人(▲2,409人) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100~199床) : 266人 平成27年度全国黒字自治体病院平均(100~199床) : 236人 平成27年度全国赤字自治体病院平均(100~199床) : 284人</p>					

経営指標	28年度 計画 A	28年度 決算 B	増 減 B - A	(参考)		
				27年度実績 C	増 減 B - C	30年度 計画目標
職員給与費対医業収益比率(%)	46.2	49.0	2.8	47.4	1.6	46.2
<p>医業収益に対する職員給与費の割合を示す。割合が低いほど少ない人件費で効率的に収益をあげていることになる。</p> <p>[職員給与費/医業収益×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■ 医業収益に対する職員給与費の割合が増加したことによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益：5,447,605千円→5,265,276千円(▲182,329千円) [医業収益の主な増減] 入院収益(▲311,663千円)、外来収益(+58,591千円)、 他会計負担金(+37,055千円) ・ 職員給与費：2,517,121千円→2,580,515千円(+63,394千円) [職員給与費の主な増減] 退職給付費(+62,967千円) ・ 職員数増減：277人→279人(+2人) 増減内訳：医師職(▲2人)、看護職(+1人)、医療技術職(+1人)、 事務職(+2人) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100～199床)：58.9%</p> <p>平成27年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：55.5%</p> <p>平成27年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：60.7%</p>					
材料費対医業収益比率(%)	21.6	21.0	▲0.6	21.1	▲0.1	21.6
<p>医業収益に対する医療材料費の割合を示す。割合が低いほど少ない医療材料費で効率的に収益をあげていることになる。</p> <p>[材料費/医業収益×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■ 医業収益に対する材料費の割合が減少したことによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益：5,447,605千円→5,265,276千円(▲182,329千円) [医業収益の主な増減] 入院収益(▲311,663千円)、外来収益(+58,591千円)、 他会計負担金(+37,055千円) ・ 材料費：1,175,209千円→1,108,125千円(▲67,084千円) [材料費の主な増減] 薬品費(▲35,134千円)、診療材料費(▲31,950千円) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100～199床)：17.4%</p> <p>平成27年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：17.2%</p> <p>平成27年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：17.5%</p>					
患者1人1日当たり診療収入(入院)(円)	57,279	54,821	▲2,458	57,520	▲2,699	57,852
<p>入院収入の患者1人1日当たりの金額を表すもので、効率的な医療を提供することにより、単価が上昇し収益向上に繋がる。</p> <p>[入院収益/延入院患者数]</p>	<p>■ 主な内訳(増減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産婦人科：70,000円→61,035円(▲8,965円) ・ 眼科：85,000円→74,688円(▲10,312円) ・ 泌尿器科：40,000円→45,681円(+5,681円) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100～199床)：30,566円</p> <p>平成27年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：29,247円</p> <p>平成27年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：31,357円</p>					
患者1人1日当たり診療収入(外来)(円)	8,810	9,249	439	9,121	128	8,826
<p>外来収入の患者1人1日当たりの金額を表すもので、効率的な医療を提供することにより、単価が上昇し収益向上に繋がる。</p> <p>[外来収益/延外来患者数]</p>	<p>■ 主な内訳(増減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外科：18,000円→23,182円(+5,182円) ・ 眼科：5,800円→7,210円(+1,410円) ・ 泌尿器科：14,000円→9,864円(▲4,136円) <p>[参考] 平成27年度全国自治体病院平均 (100～199床)：9,472円</p> <p>平成27年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：9,998円</p> <p>平成27年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：9,203円</p>					

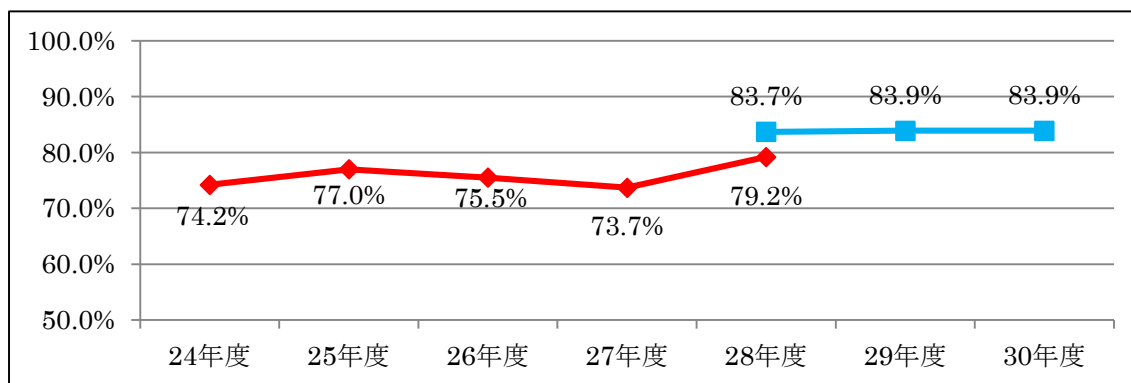
資料4 経営指標年度推移

※赤線は実績、青線は計画である。

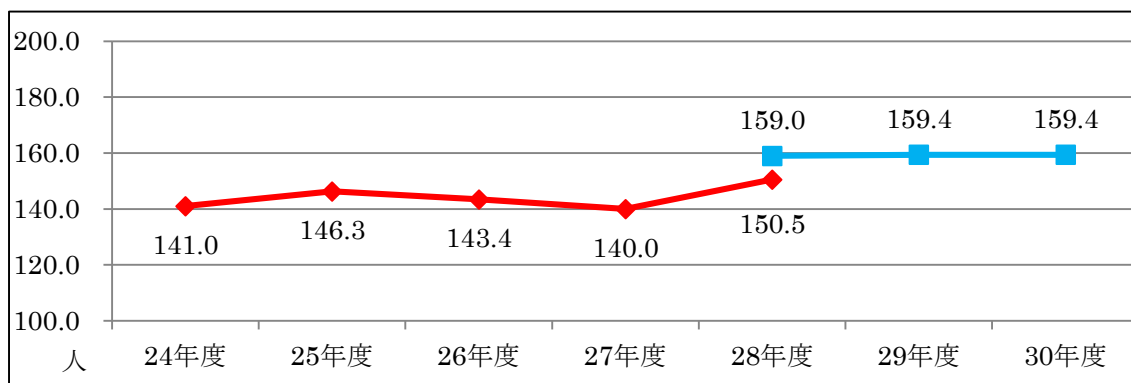
◆経常収支比率



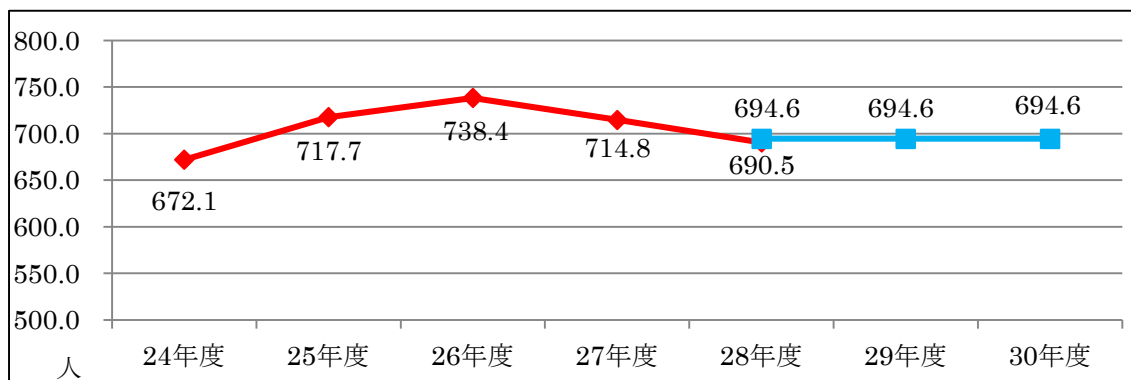
◆病床利用率



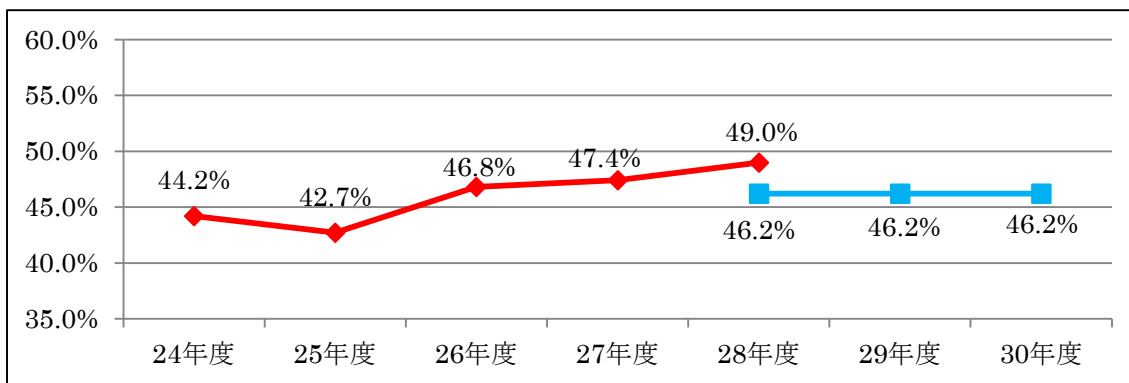
◆1日平均患者数（入院）



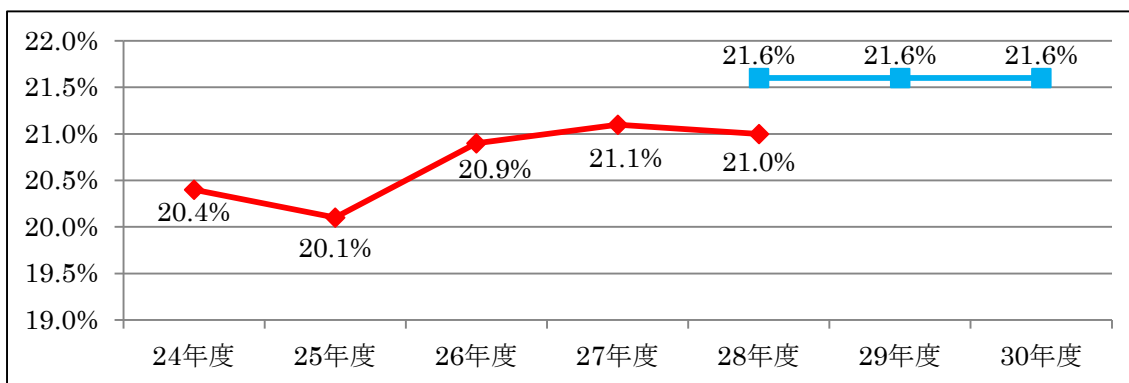
◆1日平均患者数（外来）



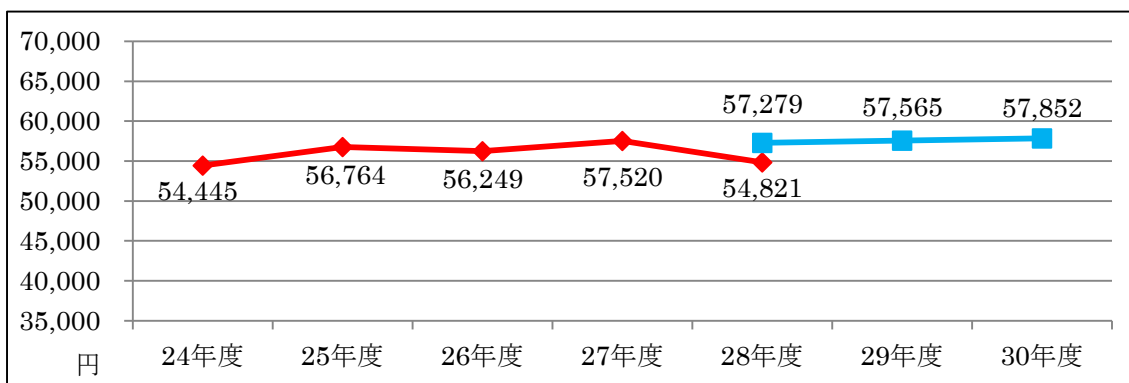
◆職員給与費対医業収益比率



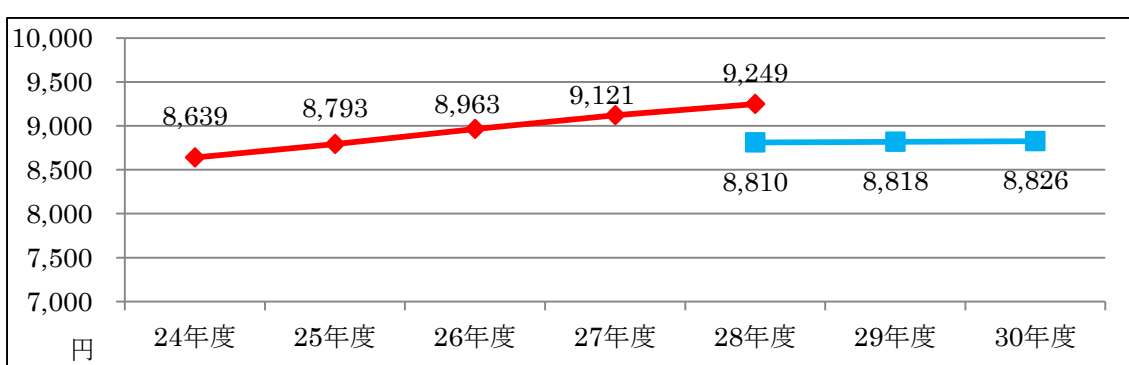
◆材料費対医業収益比率



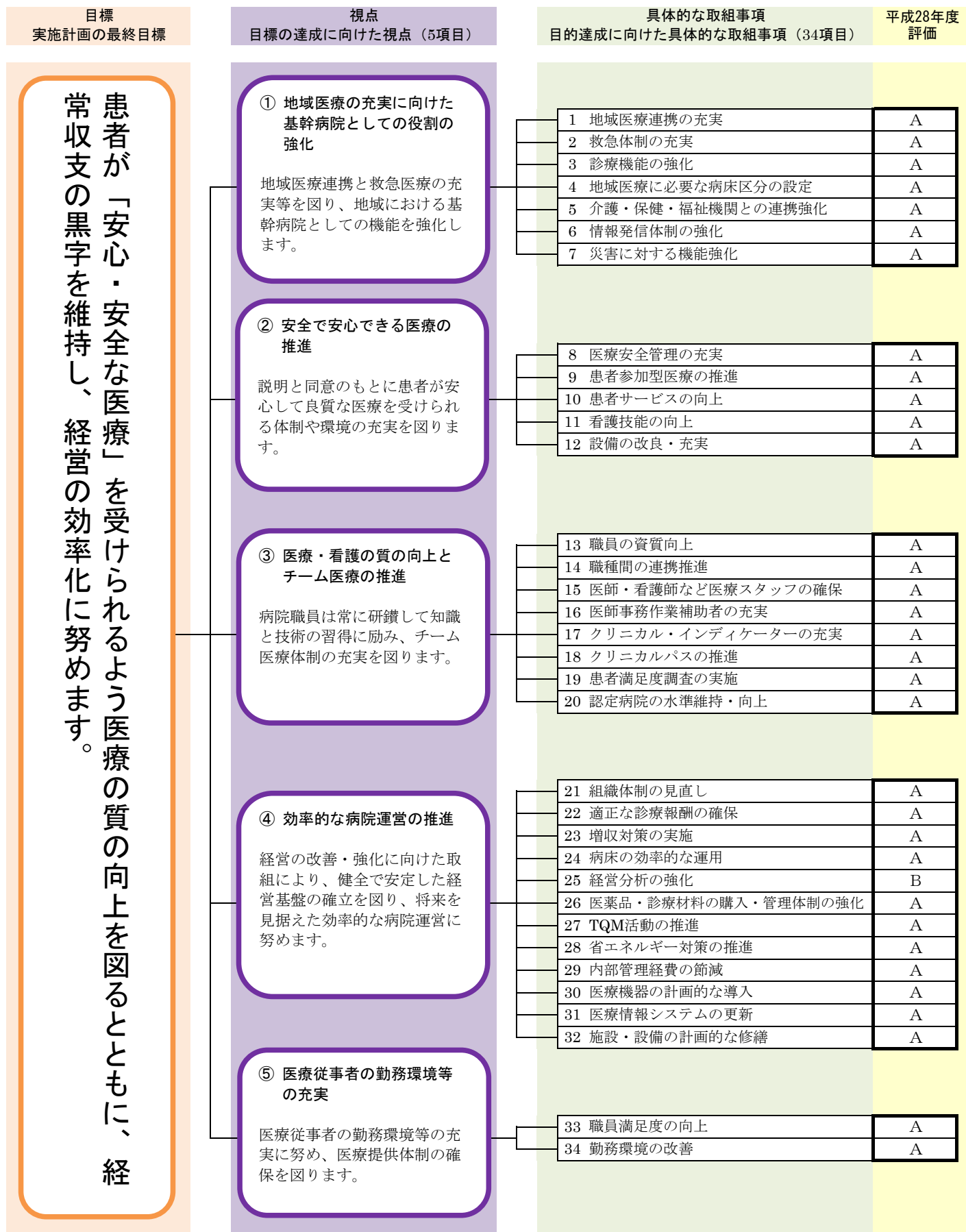
◆患者1人1日当たり診療収入（入院）



◆患者1人1日当たり診療収入（外来）



資料5 行動計画の具体的な取組事項の詳細



① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

地域医療連携と救急医療の充実等を図り、地域における基幹病院としての機能を強化します。

取組事項		(1) 地域医療連携の充実																																																																																						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携パス(急性期病院から回復期病院を経て早期に患者が在宅復帰するための診療計画表)や紹介・逆紹介の推進、かかりつけ医の普及、医療情報のオープン化に向けた検討などを進め、地域の医療機関等との連携を強化し、地域完結型医療の確立を目指します。 																																																																																							
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																		
		A	A	A																																																																																				
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																																																																			
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「かかりつけ医」となる市内医療機関を掲載した地図の配布や啓発ポスターの掲示や「大腿骨頸部骨折地域連携パス」等の地域連携パスの実施、地域の医療機関に対し「地域医療連携室だより」を年1回発行している。 平成28年度の新患者に対する他の医療機関からの紹介患者数は4,893人、救急車搬送患者数は1,501人、初診患者数は21,139人、紹介率は30.3%、また、新患者に対する他の医療機関へ紹介した逆紹介患者数は3,974人、逆紹介率は18.9%となっており、積極的に紹介、逆紹介を推進している。 																																																																																							
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医情報作成機関件数</td> <td>件</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>紹介率 <small>※紹介患者数+救急車搬送患者数/初診数×100</small></td> <td>%</td> <td>23.9</td> <td>30.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 <small>※逆紹介患者数/初診数×100</small></td> <td>%</td> <td>15.9</td> <td>18.9</td> </tr> <tr> <td>地域医療連携室だより発行数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地域連携セミナーの開催数</td> <td>回</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	かかりつけ医情報作成機関件数	件	22	22	紹介率 <small>※紹介患者数+救急車搬送患者数/初診数×100</small>	%	23.9	30.3	逆紹介率 <small>※逆紹介患者数/初診数×100</small>	%	15.9	18.9	地域医療連携室だより発行数	回	1	1	地域連携セミナーの開催数	回	3	0																																																												
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																																																				
かかりつけ医情報作成機関件数	件	22	22																																																																																					
紹介率 <small>※紹介患者数+救急車搬送患者数/初診数×100</small>	%	23.9	30.3																																																																																					
逆紹介率 <small>※逆紹介患者数/初診数×100</small>	%	15.9	18.9																																																																																					
地域医療連携室だより発行数	回	1	1																																																																																					
地域連携セミナーの開催数	回	3	0																																																																																					
	<p>28年度診療科別紹介患者数</p> <p>■ 紹介患者数 ◆ 市内紹介患者数</p> <table border="1"> <caption>28年度診療科別紹介患者数</caption> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>紹介患者数</th> <th>市内紹介患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>542</td><td>310</td></tr> <tr><td>循環器科</td><td>854</td><td>527</td></tr> <tr><td>消化器科</td><td>620</td><td>459</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>642</td><td>329</td></tr> <tr><td>外科</td><td>92</td><td>143</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>148</td><td>111</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>521</td><td>399</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>411</td><td>111</td></tr> <tr><td>耳鼻咽喉科</td><td>412</td><td>226</td></tr> <tr><td>眼科</td><td>240</td><td>135</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>116</td><td>69</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>236</td><td>140</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>8</td><td>5</td></tr> </tbody> </table>		診療科	紹介患者数	市内紹介患者数	内科	542	310	循環器科	854	527	消化器科	620	459	小児科	642	329	外科	92	143	脳神経外科	148	111	整形外科	521	399	産婦人科	411	111	耳鼻咽喉科	412	226	眼科	240	135	皮膚科	116	69	泌尿器科	236	140	麻酔科	8	5	<p>28年度診療科別逆紹介患者数</p> <p>■ 逆紹介患者数 ◆ 市内逆紹介患者数</p> <table border="1"> <caption>28年度診療科別逆紹介患者数</caption> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>逆紹介患者数</th> <th>市内逆紹介患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>496</td><td>210</td></tr> <tr><td>循環器科</td><td>1305</td><td>846</td></tr> <tr><td>消化器科</td><td>338</td><td>110</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>159</td><td>11</td></tr> <tr><td>外科</td><td>105</td><td>18</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>133</td><td>80</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>404</td><td>223</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>291</td><td>13</td></tr> <tr><td>耳鼻咽喉科</td><td>197</td><td>44</td></tr> <tr><td>眼科</td><td>214</td><td>86</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>104</td><td>38</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>226</td><td>71</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		診療科	逆紹介患者数	市内逆紹介患者数	内科	496	210	循環器科	1305	846	消化器科	338	110	小児科	159	11	外科	105	18	脳神経外科	133	80	整形外科	404	223	産婦人科	291	13	耳鼻咽喉科	197	44	眼科	214	86	皮膚科	104	38	泌尿器科	226	71	麻酔科	2	0
診療科	紹介患者数	市内紹介患者数																																																																																						
内科	542	310																																																																																						
循環器科	854	527																																																																																						
消化器科	620	459																																																																																						
小児科	642	329																																																																																						
外科	92	143																																																																																						
脳神経外科	148	111																																																																																						
整形外科	521	399																																																																																						
産婦人科	411	111																																																																																						
耳鼻咽喉科	412	226																																																																																						
眼科	240	135																																																																																						
皮膚科	116	69																																																																																						
泌尿器科	236	140																																																																																						
麻酔科	8	5																																																																																						
診療科	逆紹介患者数	市内逆紹介患者数																																																																																						
内科	496	210																																																																																						
循環器科	1305	846																																																																																						
消化器科	338	110																																																																																						
小児科	159	11																																																																																						
外科	105	18																																																																																						
脳神経外科	133	80																																																																																						
整形外科	404	223																																																																																						
産婦人科	291	13																																																																																						
耳鼻咽喉科	197	44																																																																																						
眼科	214	86																																																																																						
皮膚科	104	38																																																																																						
泌尿器科	226	71																																																																																						
麻酔科	2	0																																																																																						

① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

地域医療連携と救急医療の充実等を図り、地域における基幹病院としての機能を強化します。

取組事項		(2) 救急体制の充実																															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 救急告示病床を有する地域の基幹病院として、救急体制の維持及び充実を図ります。このほか、市内の開業医等の協力を得ながら、さらなる体制の充実にも努めます。 																																
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																											
		A	A	A																													
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																												
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科系と外科系は、継続して1次・2次救急を行っており、内科系の1次救急は開業医師との連携により実施している。また、循環器科と脳神経外科は、年間を通じて2次救急に対応するなど、継続して重症患者の対応を中心とした救急医療体制を確保している。 小児科では、当院の独自事業として平日夜間救急と2次救急を受け入れているほか、平成26年4月からは、日曜日も小児科救急を開設し、小児医療の充実に取り組んでいる。 平成28年度の救急体制の実績として、救急外来患者数は8,099人、救急車搬送患者数は1,501件、救急患者受入率は82.7%となっている。 																																
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者受入率 <small>※救急車搬送患者数/救急車による救急搬送依頼人数×100</small></td> <td>%</td> <td>83.5%</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>救急外来患者数</td> <td>人</td> <td>8,299</td> <td>8,099</td> </tr> <tr> <td>内科系1次救急当番日数</td> <td>日</td> <td>77</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>内科系1次救急当番時の受診患者数</td> <td>人</td> <td>1,914</td> <td>1,804</td> </tr> <tr> <td>小児科日曜救急実施日数</td> <td>日</td> <td>49</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>小児科日曜救急受診患者数</td> <td>人</td> <td>1,418</td> <td>1,460</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	救急患者受入率 <small>※救急車搬送患者数/救急車による救急搬送依頼人数×100</small>	%	83.5%	82.7%	救急外来患者数	人	8,299	8,099	内科系1次救急当番日数	日	77	71	内科系1次救急当番時の受診患者数	人	1,914	1,804	小児科日曜救急実施日数	日	49	50	小児科日曜救急受診患者数	人	1,418	1,460
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																														
救急患者受入率 <small>※救急車搬送患者数/救急車による救急搬送依頼人数×100</small>	%	83.5%	82.7%																														
救急外来患者数	人	8,299	8,099																														
内科系1次救急当番日数	日	77	71																														
内科系1次救急当番時の受診患者数	人	1,914	1,804																														
小児科日曜救急実施日数	日	49	50																														
小児科日曜救急受診患者数	人	1,418	1,460																														


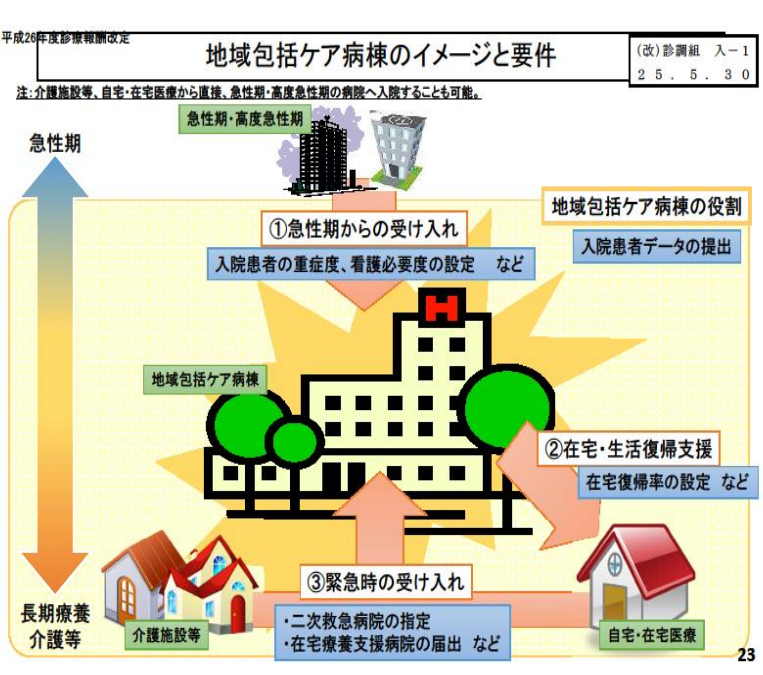
① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

地域医療連携と救急医療の充実等を図り、地域における基幹病院としての機能を強化します。

取組事項		(3) 診療機能の強化																																																																																																																																																																																									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 健診センターの機能強化を図るため、専任保健師による保健指導の実施、設備の充実などに努めます。 妊婦健診において、医師による対応のほか、助産師による助産外来の円滑な運用も進め、妊婦一人ひとりに合わせた極め細かな指導・相談の充実を図ります。 人工透析やリハビリテーションなどの機能を強化することにより、治療・検査体制等の充実にも努めます。 																																																																																																																																																																																										
	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																																					
総括評価		B	A	A	実施																																																																																																																																																																																						
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																																																																																																																																																																						
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診センターでは、病気の早期発見・早期治療のため、生活習慣病予防健診や企業健診を中心に、各種の健診(検診)業務を行っている。平成24年度は非常勤医師の配置、平成25年度は管理課を新設し、管理体制の強化と事務の効率化を図っている。また、平成27年度から専任保健師による保健指導の実施、平成28年度から女性の放射線技師を増員し、マンモグラフィー検査等女性に配慮した健診を心がけている。平成28年度の健診(検診)受診者数は6,948人、実施件数は8,076件となっている。 妊産婦がより安心して快適な出産を迎えられるよう、平成25年7月から助産外来「Yui(ゆい)」をスタートし、継続して実施している。平成28年度の助産外来受診延べ件数は69件となっている。 平成28年2月から、新たに「がん患者リハビリテーション」を実施しており、平成28年度実施単位数は1,108件となっているほか、診療報酬改定に伴い「廃用症候群リハビリテーション」が「脳血管疾患等リハビリテーション」から分離している。また、「地域包括ケア病床」開設に伴い、作業療法士を1名増員し2名体制となり、急性期治療後のリハビリテーション等の充実を図っている。各種リハビリテーション実施単位数は、25,709単位となり、前年度と比較し5,152件の増となっている。 平成28年度の人工透析実施回数は4,055回となり、前年度と比較し345回の増となっている。 																																																																																																																																																																																										
	参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>健診センター健診・検診項目</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 健診</td> <td>4,794</td> <td>5,056</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">内訳</td> <td>総合健診</td> <td>674</td> <td>697</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ健診</td> <td>2,380</td> <td>2,504</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>1,634</td> <td>1,753</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>106</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>2,872</td> <td>3,045</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>1,922</td> <td>2,011</td> </tr> <tr> <td>② 心臓ドック</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>③ 脳ドック</td> <td>411</td> <td>399</td> </tr> <tr> <td>④ 乳房検診</td> <td>1,526</td> <td>1,332</td> </tr> <tr> <td>⑤ 婦人科検診</td> <td>1,211</td> <td>1,076</td> </tr> <tr> <td>⑥ 骨粗しょう症検診</td> <td>177</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,123</td> <td>8,076</td> </tr> </tbody> </table>		健診センター健診・検診項目	H27実績値	H28実績値	① 健診	4,794	5,056	内訳	総合健診	674	697	協会けんぽ健診	2,380	2,504	一般健診	1,634	1,753	特定健診	106	102	男性	2,872	3,045	女性	1,922	2,011	② 心臓ドック	4	0	③ 脳ドック	411	399	④ 乳房検診	1,526	1,332	⑤ 婦人科検診	1,211	1,076	⑥ 骨粗しょう症検診	177	213	合計	8,123	8,076	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">各種リハビリテーション料実施単位数</th> <th colspan="3">27年度</th> <th colspan="3">28年度</th> </tr> <tr> <th>PT</th> <th>OT</th> <th>合計</th> <th>PT</th> <th>OT</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)</td> <td>8,469</td> <td>1,725</td> <td>10,194</td> <td>2,374</td> <td>2,609</td> <td>4,983</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)</td> <td>49</td> <td>2</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>①実施単位数合計</td> <td>8,518</td> <td>1,727</td> <td>10,245</td> <td>2,374</td> <td>2,609</td> <td>4,983</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリテーション料(Ⅰ)</td> <td>5,569</td> <td>698</td> <td>6,267</td> <td>7,464</td> <td>2,837</td> <td>10,301</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリテーション料(Ⅱ)</td> <td>2,101</td> <td>1,944</td> <td>4,045</td> <td>1,368</td> <td>1,662</td> <td>3,030</td> </tr> <tr> <td>②実施単位数合計</td> <td>7,670</td> <td>2,642</td> <td>10,312</td> <td>8,832</td> <td>4,499</td> <td>13,331</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,090</td> <td>136</td> <td>6,226</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>61</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>③実施単位数合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,151</td> <td>136</td> <td>6,287</td> </tr> <tr> <td>がん患者リハビリテーション料</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,108</td> <td>0</td> <td>1,108</td> </tr> <tr> <td>④実施単位数合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,108</td> <td>0</td> <td>1,108</td> </tr> <tr> <td>(A) 実施単位数合計 (①+②+③+④)</td> <td>16,188</td> <td>4,369</td> <td>20,557</td> <td>18,465</td> <td>7,244</td> <td>25,709</td> </tr> <tr> <td>⑤外来診療日数</td> <td>242</td> <td>231</td> <td></td> <td>243</td> <td>235</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥1日上限単位</td> <td>21</td> <td>21</td> <td></td> <td>21</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦職員数</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(B) 月実施限度単位数※ (⑤×⑥×⑦)</td> <td>20,328</td> <td>4,851</td> <td>25,179</td> <td>19,055</td> <td>7,236</td> <td>26,291</td> </tr> <tr> <td>(C) 実施率 (A)/(B)</td> <td>79.6%</td> <td>90.1%</td> <td>81.6%</td> <td>96.9%</td> <td>100.0%</td> <td>98.5%</td> </tr> <tr> <td>(D) 職員1人当たりの1日実施数 (※1日の上限値「21単位」)</td> <td>16.7</td> <td>18.9</td> <td>17.1</td> <td>20.3</td> <td>21.0</td> <td>20.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※月実施限度単位数は、(⑤×⑥×⑦)からPT・OTの休職日数を控除した数値を計上している。</p>			各種リハビリテーション料実施単位数	27年度			28年度			PT	OT	合計	PT	OT	合計	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	8,469	1,725	10,194	2,374	2,609	4,983	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	49	2	51	0	0	0	①実施単位数合計	8,518	1,727	10,245	2,374	2,609	4,983	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	5,569	698	6,267	7,464	2,837	10,301	運動器リハビリテーション料(Ⅱ)	2,101	1,944	4,045	1,368	1,662	3,030	②実施単位数合計	7,670	2,642	10,312	8,832	4,499	13,331	廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)	0	0	0	6,090	136	6,226	廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)	0	0	0	61	0	61	③実施単位数合計	0	0	0	6,151	136	6,287	がん患者リハビリテーション料	0	0	0	1,108	0	1,108	④実施単位数合計	0	0	0	1,108	0	1,108	(A) 実施単位数合計 (①+②+③+④)	16,188	4,369	20,557	18,465	7,244	25,709	⑤外来診療日数	242	231		243	235		⑥1日上限単位	21	21		21	21		⑦職員数	4	1	5	4	2	6	(B) 月実施限度単位数※ (⑤×⑥×⑦)	20,328	4,851	25,179	19,055	7,236	26,291	(C) 実施率 (A)/(B)	79.6%	90.1%	81.6%	96.9%	100.0%	98.5%	(D) 職員1人当たりの1日実施数 (※1日の上限値「21単位」)	16.7	18.9	17.1	20.3	21.0
健診センター健診・検診項目	H27実績値	H28実績値																																																																																																																																																																																									
① 健診	4,794	5,056																																																																																																																																																																																									
内訳	総合健診	674	697																																																																																																																																																																																								
	協会けんぽ健診	2,380	2,504																																																																																																																																																																																								
	一般健診	1,634	1,753																																																																																																																																																																																								
	特定健診	106	102																																																																																																																																																																																								
	男性	2,872	3,045																																																																																																																																																																																								
	女性	1,922	2,011																																																																																																																																																																																								
② 心臓ドック	4	0																																																																																																																																																																																									
③ 脳ドック	411	399																																																																																																																																																																																									
④ 乳房検診	1,526	1,332																																																																																																																																																																																									
⑤ 婦人科検診	1,211	1,076																																																																																																																																																																																									
⑥ 骨粗しょう症検診	177	213																																																																																																																																																																																									
合計	8,123	8,076																																																																																																																																																																																									
各種リハビリテーション料実施単位数	27年度			28年度																																																																																																																																																																																							
	PT	OT	合計	PT	OT	合計																																																																																																																																																																																					
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	8,469	1,725	10,194	2,374	2,609	4,983																																																																																																																																																																																					
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	49	2	51	0	0	0																																																																																																																																																																																					
①実施単位数合計	8,518	1,727	10,245	2,374	2,609	4,983																																																																																																																																																																																					
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	5,569	698	6,267	7,464	2,837	10,301																																																																																																																																																																																					
運動器リハビリテーション料(Ⅱ)	2,101	1,944	4,045	1,368	1,662	3,030																																																																																																																																																																																					
②実施単位数合計	7,670	2,642	10,312	8,832	4,499	13,331																																																																																																																																																																																					
廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)	0	0	0	6,090	136	6,226																																																																																																																																																																																					
廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)	0	0	0	61	0	61																																																																																																																																																																																					
③実施単位数合計	0	0	0	6,151	136	6,287																																																																																																																																																																																					
がん患者リハビリテーション料	0	0	0	1,108	0	1,108																																																																																																																																																																																					
④実施単位数合計	0	0	0	1,108	0	1,108																																																																																																																																																																																					
(A) 実施単位数合計 (①+②+③+④)	16,188	4,369	20,557	18,465	7,244	25,709																																																																																																																																																																																					
⑤外来診療日数	242	231		243	235																																																																																																																																																																																						
⑥1日上限単位	21	21		21	21																																																																																																																																																																																						
⑦職員数	4	1	5	4	2	6																																																																																																																																																																																					
(B) 月実施限度単位数※ (⑤×⑥×⑦)	20,328	4,851	25,179	19,055	7,236	26,291																																																																																																																																																																																					
(C) 実施率 (A)/(B)	79.6%	90.1%	81.6%	96.9%	100.0%	98.5%																																																																																																																																																																																					
(D) 職員1人当たりの1日実施数 (※1日の上限値「21単位」)	16.7	18.9	17.1	20.3	21.0	20.7																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健診センター健診・検診実施件数</td> <td>件</td> <td>8,123</td> <td>8,076</td> </tr> <tr> <td>各種リハビリテーション実施単位数</td> <td>単位</td> <td>20,557</td> <td>25,709</td> </tr> <tr> <td>人工透析実施回数</td> <td>回</td> <td>3,710</td> <td>4,055</td> </tr> </tbody> </table>		指標名	単位	H27実績値	H28実績値	健診センター健診・検診実施件数	件	8,123	8,076	各種リハビリテーション実施単位数	単位	20,557	25,709	人工透析実施回数	回	3,710	4,055																																																																																																																																																																										
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																																																																																																																																																								
健診センター健診・検診実施件数	件	8,123	8,076																																																																																																																																																																																								
各種リハビリテーション実施単位数	単位	20,557	25,709																																																																																																																																																																																								
人工透析実施回数	回	3,710	4,055																																																																																																																																																																																								

① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

地域医療連携と救急医療の充実等を図り、地域における基幹病院としての機能を強化します。

取組事項		(4) 地域医療に必要な病床区分の設定																			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 北海道が策定する「地域医療構想(ビジョン)」や、市内病院の病床機能分化の動向を見極めながら、急性期病床(急性増悪を含む発症後間もない患者又は病状が不安定な患者への医療提供機能を持つ病床)や亜急性期病床など、将来の地域医療に必要な病床区分の設定を検討します。 																				
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30															
		B	B	A	実施 																
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が進める急性期病床削減方針や診療報酬改定等様々な動きに対応するため、平成27年度に市民病院の幹部等で組織する「病床機能検討会議」を設置し、3階西病棟の一部病床(16床)を「地域包括ケア病床」に転換することを決定している。平成28年度は、4月から「地域包括ケア病床導入プロジェクト会議」を設置し、11月から「地域包括ケア病床」の仮運用を開始している。また、「地域包括ケア病床運営会議」を設置し、仮運用の実績等を踏まえながら検証を重ね、平成29年3月から「地域包括ケア病床」を本格運用している。 今後は、道が設置する「札幌圏域地域医療構想調整会議」にて、札幌圏域の医療提供体制等について様々な検討がなされる予定であるが、一方的な病床削減とならぬよう、千歳市の特性が十分に踏まえられ、千歳・恵庭圏域唯一の公立病院として、地域医療に必要な病床区分の設定を求めていく。 																				
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括ケア病床導入プロジェクト会議回数</td> <td>回</td> <td>-</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア病床運営会議開催回数</td> <td>回</td> <td>-</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>地域医療構想に関連する会議・講演等への参加</td> <td>回</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	地域包括ケア病床導入プロジェクト会議回数	回	-	6	地域包括ケア病床運営会議開催回数	回	-	19	地域医療構想に関連する会議・講演等への参加	回	3	3	
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																	
地域包括ケア病床導入プロジェクト会議回数	回	-	6																		
地域包括ケア病床運営会議開催回数	回	-	19																		
地域医療構想に関連する会議・講演等への参加	回	3	3																		
	<p>1. 地域包括ケア病床とは</p> <p>「地域包括ケア病床」とは、急性期治療を経過し、病状が安定した患者に対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病床であり、国が推進する「地域包括ケアシステム」を支える役割を担うものである。</p> <p>【主な機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 急性期からの受け入れ (ポストアキュート) ② 在宅・生活復帰支援 ③ 緊急時の受け入れ (サブアキュート): 要介護者などの発熱、脱水、肺炎等による緊急時の入院 <p>【対象となる患者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期治療により症状が安定・改善したが、在宅復帰に向けてリハビリや経過観察が必要な患者 在宅での生活にあたり準備が必要な患者 自宅や施設で療養中の患者 (緊急時の入院) 				<p>平成26年度診療報酬改定</p> <p>地域包括ケア病棟のイメージと要件 (改) 診療組 入-1 25. 5. 30</p> <p>注: 介護施設等、自宅・在宅医療から直接、急性期・高度急性期の病院へ入院することも可能。</p> 																


① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

地域医療連携と救急医療の充実等を図り、地域における基幹病院としての機能を強化します。

取組事項		(5)介護・保健・福祉機関との連携強化																		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 転院する患者への支援のほか、緩和ケア(疾患による身体的な痛みだけでなく、心理的な苦痛や不安を和らげるための予防・対処)や訪問看護など退院患者の在宅医療・生活支援に関する体制を構築するため、介護、保健、福祉機関との連携を強化します。 																			
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30														
		A	A	A																
	評価項目	A)実施中		B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了														
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年に市内病院MSW(当院、千歳第一病院、北星病院、千歳豊友会病院)、居宅介護支援事業所介護支援専門員、地域包括支援センター職員で、地域の医療と介護の連携強化を目的に「ちとせの介護医療連携の会」を設立し、開設当時から当院職員も運営に携わりながら、円滑な退院支援や地域連携強化に向けて情報交換会や研修会に参加し連携強化に向け活動している。 平成28年度は、千歳市の在宅医療体制について、市民病院MSW、千歳市北区地域包括支援センター、市内訪問看護ステーション等の地域関係機関と連携して在宅療養研修会を6回開催し、当院の退院支援の流れ、地域包括支援センターの役割、千歳市内全訪問看護ステーションと病院看護師との意見交流会(ケア・カフェ)等で、お互いに理解・連携を深めている。 平成28年度の医療相談係における転院調整件数は262件となっており、転院する患者への支援を積極的に行っている。 																			
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談係における転院調整件数</td> <td>件</td> <td>230</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td>退院支援計画書作成人数</td> <td>人</td> <td>230</td> <td>367</td> </tr> <tr> <td>在宅療養研修会開催数</td> <td>回</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	医療相談係における転院調整件数	件	230	262	退院支援計画書作成人数	人	230	367	在宅療養研修会開催数	回	6	6
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																
医療相談係における転院調整件数	件	230	262																	
退院支援計画書作成人数	人	230	367																	
在宅療養研修会開催数	回	6	6																	
	<p>○ 在宅療養研修会開催内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>演題</th> <th>日時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回 ケアカフェ「緩和」</td> <td>7月6日</td> </tr> <tr> <td>第二回 みえる事例検討会</td> <td>7月6日</td> </tr> <tr> <td>第三回 退院・在宅支援について</td> <td>8月3日</td> </tr> <tr> <td>第四回 ケアカフェ「つながり」</td> <td>11月2日</td> </tr> <tr> <td>第五回 ケアカフェ「感染・予防」</td> <td>2月1日</td> </tr> <tr> <td>第六回 みえる事例検討会</td> <td>3月1日</td> </tr> </tbody> </table>				演題	日時	第一回 ケアカフェ「緩和」	7月6日	第二回 みえる事例検討会	7月6日	第三回 退院・在宅支援について	8月3日	第四回 ケアカフェ「つながり」	11月2日	第五回 ケアカフェ「感染・予防」	2月1日	第六回 みえる事例検討会	3月1日		
演題	日時																			
第一回 ケアカフェ「緩和」	7月6日																			
第二回 みえる事例検討会	7月6日																			
第三回 退院・在宅支援について	8月3日																			
第四回 ケアカフェ「つながり」	11月2日																			
第五回 ケアカフェ「感染・予防」	2月1日																			
第六回 みえる事例検討会	3月1日																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>平成28年度在宅療養研修3回目 退院・在宅支援について</p> <p>入院は、患者にとって「非日常」であり、退院とは患者本来の「生活者」としてのあり方に戻るプロセスです。入院期間が長くなれば「退院し、自宅で生活する自分の姿」をだんだんイメージできなくなってしまう。入院初期、あるいは外来退院から退院後の生活を見据え、必要となるであろう医療提供を見極め、支援していくことが大切となります。何が必要か、誰に相談したらいいか等、流れに沿ってわかりやすく匿名MSWが話をします。</p> <p>多数の参加をお待ちしています。</p> <p>「誰に相談？ 先生？MSW？」 「家に帰ったら一人で生活できるかな？」 「外来に伺ったか来たか？ けど匿名大丈夫かな？」 「退院支援ってなに？」 「やるほど！ そうなんだ！」 「私は、何ぞうしろたいの？」</p> <p>日時： 8月3日(水) 17:30~18:30 場所： 市民病院2階講義室1, 2</p> <p>会場： 地域医療連携部 看護部看護士研修室 問合せ先： 地域医療連携部看護士研修室 内線422-411</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>見える事例検討会 認知症もながら在宅生活している人工肛門患者の支援について</p> <p>日時： 7月6日(水) 17:30~19:00 場所： 市民病院2階講義室1, 2</p> <p>事例検討を行うために『見えるマップ』というツールを使用し、個別のケースや地域課題の解決を図れる『見える事例検討会』を千歳市北区地域包括支援センターおよび訪問看護ステーション、介護支援専門員の協力を得て開催いたします。</p> <p>内容はファミリーケースを基にしたオンラインで事例検討を進め、マインドマップ(見えるマップ)を用いながら課題を共有し、それぞれの職種(医療職、介護職、福祉職、行政職、司法関係者)で役割・支援方法の検討をエコマップを用いて検討を行います。</p> <p>通常の事例検討よりもはるかに解像度が高く、事例提供者の準備作業も少なく、誰でも気軽に参加できる形式のものです。新しい事例検討の方法にほんの少しでも興味のある方は是非ご参加ください。</p> </div> </div>																			

① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

地域医療連携と救急医療の充実等を図り、地域における基幹病院としての機能を強化します。

取組事項		(6) 情報発信体制の強化																																																		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの魅力度や利便性の向上に努めるとともに、様々な情報を発信します。 市民の関心を高める健康講座や関係機関・施設への情報提供を行う研修会等を開催し、地域に親しまれ、信頼される病院づくりを進めます。 																																																			
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																														
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	実施 → 完) 完了・終了																																															
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の健康推進、疾病予防の一環として、平成17年度から「市民健康講座」を開催している。市民の「健康」に対する意識の向上を目指し、各診療科の医師、看護師や専門職員から健康に関する様々な情報を提供しており、平成28年度は12回開催し336人が参加している。 市民・患者等に対して、より分かりやすく情報提供を行うため、市立千歳市民病院広報誌「ふれあい」の発行や、平成25年度に全面的なホームページの見直しを行っている。 平成28年度の当院ホームページ閲覧延べ人数は129,820人、更新件数は279件となっており、多くの方が利用されている。 																																																			
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民健康講座の開催数</td> <td>回</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>市民健康講座参加人数</td> <td>人</td> <td>325</td> <td>336</td> </tr> <tr> <td>ホームページ閲覧延べ人数</td> <td>人</td> <td>130,580</td> <td>129,820</td> </tr> <tr> <td>ホームページ更新件数</td> <td>件</td> <td>167</td> <td>279</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	市民健康講座の開催数	回	12	12	市民健康講座参加人数	人	325	336	ホームページ閲覧延べ人数	人	130,580	129,820	ホームページ更新件数	件	167	279	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">「市民健康講座」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>抗がん剤とその医療費について</td></tr> <tr><td>5月</td><td>～突然おそう悲劇～ 心筋梗塞と戦う</td></tr> <tr><td>6月</td><td>医師にかかる十ヶ条 薬の飲み方間違っていますか？</td></tr> <tr><td>7月</td><td>思春期の起立性調節障害 ～学校へ行けない子供たち～</td></tr> <tr><td>8月</td><td>大切なひとの命を守れますか ～家族が行う心肺蘇生～</td></tr> <tr><td>9月</td><td>知っておきたい糖尿病の話 ～楽しく健康寿命を延ばすために～</td></tr> <tr><td>10月</td><td>転倒予防～転ばない体を作ろう！～</td></tr> <tr><td>11月</td><td>日進月歩の乳がん治療</td></tr> <tr><td>12月</td><td>インフルエンザと肺炎の予防</td></tr> <tr><td>1月</td><td>腰痛について</td></tr> <tr><td>2月</td><td>肌活でスキントラブル予防</td></tr> <tr><td>3月</td><td>あなたの腎臓は大丈夫ですか？</td></tr> </tbody> </table>		「市民健康講座」		4月	抗がん剤とその医療費について	5月	～突然おそう悲劇～ 心筋梗塞と戦う	6月	医師にかかる十ヶ条 薬の飲み方間違っていますか？	7月	思春期の起立性調節障害 ～学校へ行けない子供たち～	8月	大切なひとの命を守れますか ～家族が行う心肺蘇生～	9月	知っておきたい糖尿病の話 ～楽しく健康寿命を延ばすために～	10月	転倒予防～転ばない体を作ろう！～	11月	日進月歩の乳がん治療	12月	インフルエンザと肺炎の予防	1月	腰痛について	2月	肌活でスキントラブル予防	3月	あなたの腎臓は大丈夫ですか？
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																
市民健康講座の開催数	回	12	12																																																	
市民健康講座参加人数	人	325	336																																																	
ホームページ閲覧延べ人数	人	130,580	129,820																																																	
ホームページ更新件数	件	167	279																																																	
「市民健康講座」																																																				
4月	抗がん剤とその医療費について																																																			
5月	～突然おそう悲劇～ 心筋梗塞と戦う																																																			
6月	医師にかかる十ヶ条 薬の飲み方間違っていますか？																																																			
7月	思春期の起立性調節障害 ～学校へ行けない子供たち～																																																			
8月	大切なひとの命を守れますか ～家族が行う心肺蘇生～																																																			
9月	知っておきたい糖尿病の話 ～楽しく健康寿命を延ばすために～																																																			
10月	転倒予防～転ばない体を作ろう！～																																																			
11月	日進月歩の乳がん治療																																																			
12月	インフルエンザと肺炎の予防																																																			
1月	腰痛について																																																			
2月	肌活でスキントラブル予防																																																			
3月	あなたの腎臓は大丈夫ですか？																																																			
	 <p>市立千歳市民病院広報誌 第56号 ふれあい ～平成28年9月1日発行～</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">広報「ふれあい」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>号数</th> <th>発行日</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>第58号</td> <td>H29. 3. 1</td> <td>・平成28年度市民健康講座のまとめ ・泌尿器科腎臓外来のご紹介</td> </tr> <tr> <td>第57号</td> <td>H28. 12. 1</td> <td>・病院機能評価の審査を受けました ・豆知識です</td> </tr> <tr> <td>第56号</td> <td>H28. 9. 1</td> <td>・脂質異常症について ・意外と知らない放射線の話</td> </tr> <tr> <td>第55号</td> <td>H28. 6. 1</td> <td>・職員紹介 ・あなたのかかりつけ医を見つけてみませんか ・市民健康講座のお知らせ ・患者様の権利と責任</td> </tr> </tbody> </table>		広報「ふれあい」			号数	発行日	内容	第58号	H29. 3. 1	・平成28年度市民健康講座のまとめ ・泌尿器科腎臓外来のご紹介	第57号	H28. 12. 1	・病院機能評価の審査を受けました ・豆知識です	第56号	H28. 9. 1	・脂質異常症について ・意外と知らない放射線の話	第55号	H28. 6. 1	・職員紹介 ・あなたのかかりつけ医を見つけてみませんか ・市民健康講座のお知らせ ・患者様の権利と責任																												
広報「ふれあい」																																																				
号数	発行日	内容																																																		
第58号	H29. 3. 1	・平成28年度市民健康講座のまとめ ・泌尿器科腎臓外来のご紹介																																																		
第57号	H28. 12. 1	・病院機能評価の審査を受けました ・豆知識です																																																		
第56号	H28. 9. 1	・脂質異常症について ・意外と知らない放射線の話																																																		
第55号	H28. 6. 1	・職員紹介 ・あなたのかかりつけ医を見つけてみませんか ・市民健康講座のお知らせ ・患者様の権利と責任																																																		


① 地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

地域医療連携と救急医療の充実等を図り、地域における基幹病院としての機能を強化します。

取組事項		(7)災害に対する機能強化															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の医療拠点としての機能が求められる自治体病院として、事業継続計画(通常業務の遂行が困難になる事態が発生した際に、事業の継続や復旧を速やかに遂行するための計画)の作成や災害時を想定した訓練、職員研修などを定期的実施するとともに、災害支援ナース(災害支援に関連する研修や訓練を受けた看護師)の育成を行うなど、災害時に対する機能強化を図ります。 																
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30											
		B	B	A													
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了												
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種災害訓練においては、院内にて消防訓練(2回)や災害時患者受入実働訓練(3回)の実施、市の防災訓練(実働訓練では医師1名、看護師及び技師6名・事務職3名、図上訓練では医師1名、看護師5名・事務職11名)や新千歳空港航空機事故対応部分訓練(医師1名・看護師2名・事務職2名)への参加のほか、苫小牧市立病院災害対策訓練の視察等を行っている。 災害時に各部署の職員が担う役割等を規定した「市民病院災害対策マニュアル」を平成18年度に策定し、毎年度点検を行っている。 事業継続計画(BCP)を策定するため、平成27年度から、院内に災害対策委員会を設置し、災害レベルや優先業務の選定、アクションカードの作成等に取り組み、平成28年10月に「市民病院業務継続計画(BCP)」を策定している。 北海道看護協会の災害看護の研修を終えた災害支援ナース登録者は平成28年度末で7名おり、先の東日本大震災においては、当院から医師1名及び災害支援ナース4名を被災地へ順次派遣している。 																
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種災害訓練回数</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>災害等対応マニュアル点検回数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	各種災害訓練回数	回	4	8	災害等対応マニュアル点検回数	回	1	1	<p>総合訓練(院内保育所)の様子</p> 
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値													
各種災害訓練回数	回	4	8														
災害等対応マニュアル点検回数	回	1	1														
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成28年6月30日 (①・② 14:00~16:00)</td> <td>①救助袋による避難及び誘導訓練 ②消火栓使用方法習得訓練及び消火器による初期消火訓練、通報訓練</td> <td>参加者</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>平成28年9月27日 (③ 10:00~10:30)</td> <td>③総合訓練(通報・消火・避難誘導・情報伝達) ・午前10時、保育所洗濯室内からの出火を想定</td> <td>参加者</td> <td>49名</td> </tr> <tr> <td>(④ 15:00~16:00)</td> <td>④総合訓練(通報・消火・避難誘導・防護安全・情報伝達) ・午後10時、4階西病棟洗濯室内の乾燥機からの出火を想定</td> <td>参加者</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table>			平成28年6月30日 (①・② 14:00~16:00)	①救助袋による避難及び誘導訓練 ②消火栓使用方法習得訓練及び消火器による初期消火訓練、通報訓練	参加者	28名	平成28年9月27日 (③ 10:00~10:30)	③総合訓練(通報・消火・避難誘導・情報伝達) ・午前10時、保育所洗濯室内からの出火を想定	参加者	49名	(④ 15:00~16:00)	④総合訓練(通報・消火・避難誘導・防護安全・情報伝達) ・午後10時、4階西病棟洗濯室内の乾燥機からの出火を想定	参加者	36名		
平成28年6月30日 (①・② 14:00~16:00)	①救助袋による避難及び誘導訓練 ②消火栓使用方法習得訓練及び消火器による初期消火訓練、通報訓練	参加者	28名														
平成28年9月27日 (③ 10:00~10:30)	③総合訓練(通報・消火・避難誘導・情報伝達) ・午前10時、保育所洗濯室内からの出火を想定	参加者	49名														
(④ 15:00~16:00)	④総合訓練(通報・消火・避難誘導・防護安全・情報伝達) ・午後10時、4階西病棟洗濯室内の乾燥機からの出火を想定	参加者	36名														

② 安全で安心できる医療の推進

説明と同意のもとに患者が安心して良質な医療を受けられる体制や環境の充実を図ります。

取組事項		(8) 医療安全管理の充実																												
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会や講習会の参加機会などを通じて、医療安全や感染対策に関する職員の意識向上や知識の習得、人材の育成を推進するとともに、マニュアルの整備やラウンドの実施などにより、医療安全管理の充実に取り組みます。 																													
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																								
		A	A	A																										
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																									
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <p>〈 医療安全対策 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月に、患者・職員の医療安全を推進するため医療安全管理室を開設し、医療安全に係る各種研修会や院内の定期巡回を行い、安全の確認や指導などの活動を行っている。また、当院の医療安全に係る基本方針を定めた医療安全管理指針、医療安全管理マニュアルの整備を行い、医療事故防止、安全文化醸成に取り組んでいる。 安全で安心な医療を提供するため、毎月、安全管理委員会を開催し、医療の安全に係る諸問題を審議し、医療事故の原因究明と分析及び再発防止策の検討、推進を継続的に行っている。 平成28年度においては、医療安全管理に係る各種研修会等(10回)と全職員対象の研修会(2回)、医療安全管理室ラウンドを12回、GRM(リスクマネジャー)ラウンドを48回実施している。また、ラウンドにおける指摘項目については、改善の確認を行っている。 平成27年10月に施行された医療事故調査制度へ適切に対応するため、医療事故対象事案の有無に関わらず、院内で起きた全ての死亡・死産に対しスクリーニングやカルテレビュー(237件/年)を実施している。 <p>〈 医療関連感染対策 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月に、患者、職員、病院訪問者等の医療関連感染防止等を推進するため感染対策室を開設し、感染対策に係る各種研修会や感染制御チーム(ICT)による院内の定期巡回(ラウンド)、医療関連感染防止対策及び医療関連感染対策体制の基本方針を定めた医療関連感染対策指針の整備・公表を行い、医療関連感染防止に取り組んでいる。 平成28年度においては、感染対策に関する新人職員研修や部署別研修などの各種研修会や全職員対象の研修会(2回)、委託業者への職員研修も行っている。また、ICTラウンド及び院内環境、抗菌薬適正使用に関するラウンドを99回実施し、医療関連感染対策の充実を図っている。 																													
	参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全管理に係る各種研修会等実施数</td> <td>回</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>医療安全管理室ラウンド回数</td> <td>回</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>GRM(リスクマネジャー)ラウンド回数</td> <td>回</td> <td>52</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>感染対策に係る全職員対象研修会実施数</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ICTラウンド及び院内環境、検出菌抗菌薬適正使用に関するラウンド回数</td> <td>回</td> <td>97</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	H27実績値	H28実績値	医療安全管理に係る各種研修会等実施数	回	15	12	医療安全管理室ラウンド回数	回	12	12	GRM(リスクマネジャー)ラウンド回数	回	52	48	感染対策に係る全職員対象研修会実施数	回	2	2	ICTラウンド及び院内環境、検出菌抗菌薬適正使用に関するラウンド回数	回	97
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																											
医療安全管理に係る各種研修会等実施数	回	15	12																											
医療安全管理室ラウンド回数	回	12	12																											
GRM(リスクマネジャー)ラウンド回数	回	52	48																											
感染対策に係る全職員対象研修会実施数	回	2	2																											
ICTラウンド及び院内環境、検出菌抗菌薬適正使用に関するラウンド回数	回	97	99																											




② 安全で安心できる医療の推進

説明と同意のもとに患者が安心して良質な医療を受けられる体制や環境の充実を図ります。

取組事項		(9) 患者参加型医療の推進																
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> IT機器の活用などを含め、患者と医療従事者とのコミュニケーションの向上を図り、患者の理解度を高めるとともに、インフォームド・コンセント(診療目的・方法・効果・危険性を事前に十分説明し、理解と同意を得た上で治療を行うこと)に基づく医療の徹底やセカンドオピニオンへの対応などにより、検査・治療方法の選択において患者の自己決定権を尊重します。 																	
総括評価	評価年度	H26 A	H27 A	H28 A	H29	H30												
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了													
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常診療の中で、もれなくインフォームド・コンセントを成立させることを目的として、統一書式による『説明と同意書』を作成しており、倫理審査委員会において、『説明と同意書』の制定及び改訂の審議を行っている。平成28年度の「説明と同意書」制定件数(様式数)は139件となっている。 平成28年度のセカンドオピニオン紹介件数は4件となっている。 																	
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>説明と同意書制定件数</td> <td>件</td> <td>121</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン紹介件数</td> <td>件</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	説明と同意書制定件数	件	121	139	セカンドオピニオン紹介件数	件	5	4	<p>■「説明と同意書」を活用し、患者に診療に対する理解を深めてもらうとともに、検査や治療方法等について患者の権利を尊重しています。</p> <p>【患者の権利と尊重に関する規程等整備状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院基本方針(平成17年5月1日改正) ・インフォームド・コンセントの基本方針(平成18年6月21日制定) ・職業倫理規定(平成18年8月1日制定) ・臨床における倫理の基本的な考え方(平成18年9月1日作成) ・臨床における倫理に関する方針(平成18年9月15日制定) ・患者様の権利と責任(平成22年4月1日制定) ・セカンド・オピニオンに関する方針(平成23年8月1日制定) 	
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値														
説明と同意書制定件数	件	121	139															
セカンドオピニオン紹介件数	件	5	4															
<p>138 腹膜透析療法に関する説明と同意書</p> <p>この文書は、前者様へ予定される腹膜透析療法について、その目的、内容、危険性などを説明するものです。説明を受けられた後、ご不明な点がありましたらご遠慮なく何でもおたずねください。</p> <p>患者様ご氏名 @PATIENTNAME 様 @PATIENTBIRTH日 生 **歳 (患者ID: @PATIENTID)</p> <p>病 名 <input type="checkbox"/> 慢性腎不全 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>治療開始日 平成 年 月 日</p> <p>【現在の病状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在または近い将来に、慢性腎不全によって、血液浄化療法(血液透析若しくは腹膜透析)又は腎移植が、生命維持のために必要な状態です。 <p>【治療の目的・必要性・有効性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腎不全に対して、腎臓の働きを助けるために、腹膜に透析液を入れて治療します。 <p>【治療の内容・注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透析は 1日5回、1回4時間程度で行います。 ・腹膜透析とは、腹膜を透析膜として腹腔内に透析液を注入し出す方法で血液の浄化を行うことです。そのためのカテーテル(管路をおなかの中心に置き、腹ストロンカ)を腹膜の下に腹腔センサの設置でカテーテルを固定して腹膜を透過する方向を介しておなかのカテーテルを体外に出すことにより、腹膜透析液の交換を可能にするための手術を行います。この手術は、手術室において行います。 <p>【危険性や合併症】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出血：カテーテル留置による腹腔内と皮下及び出口部の出血が見られることがあります。ほとんどの場合、腹腔内出血や皮下出血で止血可能ですが、手術室で止血しなければいけないことがあります。 ・感染：ストロンカ感染・出口部感染等のリスクがあります。日常生活で注意する必要があります。効果がなくなるとはカテーテルを交換する必要があります。 ・透析液漏れ：1日5回(以下)カテーテル留置時に腹腔内にカテーテルが漏れてしまうことがあります。この場合、カテーテル留置を中止し、留置したカテーテルを交換する必要があります。 ・腹膜透析液による感染：おなかに入れた腹膜透析液で、腹膜炎が起きて低体温状態になることがあります。また、カテーテル交換時の消毒で、主に下腹部、腰部、股関節などの部位が腫れることがあります。 ・腰痛：透析液の生成は、アミノ酸やチタン濃度です。自然と糖分などが吸収されて、血液が濃縮してしまいます。この濃縮は、腎臓や腸に負担をかけることがあります。 ・蛋白漏出：腹膜炎からは、血液中のタンパク質が漏れ出ていますので、それを定期的に排出、交換することによって、血液中の蛋白濃度が低下してしまいます。腎臓病の進行を促す可能性があります。低蛋白による浮腫や栄養障害が起ることもあります。食事からの摂取がより多く必要になる場合もあります。 ・自然の状態とは異なる状態に身体が慣れるため、腫脹(むくみ)でも、月一回、腎臓外来に来院して、血液検査や尿検査、レントゲン写真や超音波検査を受け、医師と定期的な診察を受けることが必要です。低蛋白、低カルシウムなどの有害なチェックが不可欠となります。 ・疼痛・腫瘍：カテーテル留置による創傷及び違和感や、カテーテル先端が腹膜に刺れることによる疼痛・腫瘍等の発生が考えられます。腹膜炎の発生、特異的におもに腎臓に生じます。また、透析液の漏れによる腫瘍の発生も考えられます。 				<p>(術前注 ・ 患者様用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カテーテル留置・挿入後：カテーテルの先端の位置が動くことや、穴開(腹膜の一部)やフィブリンがカテーテルに付着して、カテーテルが固定し、透析液の排出不良が起きることがあります。保存時に気をつけてください。腹膜炎による感染が起きることがあります。 ・その他予期できない合併症が起ることがあります。 <p>※ 合併症が発生した場合は、病院の医師から緊急の治療を行います。多くは入院だけで済みますが、腎臓手術や人工透析が必要になる場合があり、生命の危険に及ぶこともあります。</p> <p>【他の代替可能な治療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状の緩和などの対症療法 ・腎移植 (「 移植 」 「 死後 」) ・血液透析 <p>【治療を受けなかった場合に予想される経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腎不全などの病状によって生命維持に支障をきたします。 <p>あなたは、ご自分の病状およびその治療に関して担当医師より十分な説明を受け、さらに納得できるまで質問する機会を得ることができ、ご自分の意思で治療を選択する権利があなたに【知る権利】自己決定権、いったん同意書を出した後も、いつでも中止または変更することが可能であり、予定される治療を拒否してもあなたの不利になることはありませんし、セカンドオピニオンを希望することも可能です。</p> <p>説 明 日 @DATE 担当医師 @USERFORMSECTIONNAME 氏名 @USERNAME 同意書調剤 西原 氏名</p> <p>上記の説明を受けたに、担当医師からの必要性、危険性および合併症などについて説明を受け、その内容を十分に理解し納得しました。以上のもとで自由な意志に基づき、この治療を受けることに同意します。</p> <p>同意日 平成 年 月 日 患者様本人 ご署名 様 同意者の方 ご署名 様 (患者様との関係:)</p> <p>市立千歳市民病院 院長様</p>														

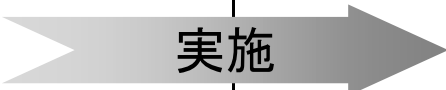
② 安全で安心できる医療の推進

説明と同意のもとに患者が安心して良質な医療を受けられる体制や環境の充実を図ります。

取組事項		(10) 患者サービスの向上																																														
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者も含め病院全体で接遇研修等を実施し、職員の意識改革や資質の向上を図り、患者側の視点で医療を提供します。 診療内容はもとより、療養環境や外来待合などに関する様々な患者ニーズに対応するとともに、病院ホームページや院内広報誌を通じた病院活動の情報提供などを行い、患者満足度の向上に努めます。 患者、家族から寄せられる医療、福祉等に係る相談に対応し、必要な支援を行う体制の充実を図ります。 院内ボランティアとの定期的な意見交換等を通じて、ボランティア活動の充実を図るとともに、新たなボランティアを積極的に受け入れるなど、市民協働で患者ニーズに対応し、患者の満足度を高めていきます。 																																															
	総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																									
			A	A	A																																											
	評価項目	A) 実施中		B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																										
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託業者も含め病院全体で接遇研修等を実施し、職員の意識改革や資質の向上を図り、患者側の視点で医療を提供している。 平成28年度の医療・福祉等相談件数は5,732件となっている。 院内ボランティア「スマイルハートリー」は、訪れた方が安心して病院を利用できるよう、市民との協働により、病院環境の向上に取り組んでいる。平成14年9月の市民病院新築移転を契機に活動を開始し、病院内の案内、車椅子や受付機械の補助等様々なボランティア活動を行っている。平成28年度の活動員は17名となっている。 患者の待ち時間を少しでも快適に過ごしてもらえるよう、院内設置の「患者サービス向上委員会」にて様々な検討を行いながら、図書コーナーの設置や待合室へのテレビ設置、長時間座っても疲れにくい椅子の導入などを行っている。平成28年度は、診療案内システムや3階と4階の病棟食堂内にあるテレビを更新している。引き続き、「順番検索システム」や「モバイル呼出システム」などの導入事例について調査研究を行っており、待ち時間短縮に努めている。 																																															
	参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社を含めた接遇研修</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>医療・福祉等相談件数</td> <td>人</td> <td>5,199</td> <td>5,732</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">相談件数の内訳(重複有)</td> <td>退院後の相談</td> <td rowspan="9">人</td> <td>3,161</td> <td>3,581</td> </tr> <tr> <td>医療費の相談</td> <td>542</td> <td>586</td> </tr> <tr> <td>福祉制度活用の相談</td> <td>3,405</td> <td>2,764</td> </tr> <tr> <td>介護・療養上の相談</td> <td>4,108</td> <td>4,332</td> </tr> <tr> <td>経済的な相談</td> <td>94</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>心理情緒的な相談</td> <td>99</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>家族の相談</td> <td>301</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>就労・職場・教育の相談</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>151</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	委託会社を含めた接遇研修	回	2	2	医療・福祉等相談件数	人	5,199	5,732	相談件数の内訳(重複有)	退院後の相談	人	3,161	3,581	医療費の相談	542	586	福祉制度活用の相談	3,405	2,764	介護・療養上の相談	4,108	4,332	経済的な相談	94	105	心理情緒的な相談	99	67	家族の相談	301	159	就労・職場・教育の相談	12	8	その他	151	142	<p>スマイルハートリーのボランティア活動 病院内</p>  <p>子供向け手作りおもちゃの作成</p> 	
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																													
委託会社を含めた接遇研修	回	2	2																																													
医療・福祉等相談件数	人	5,199	5,732																																													
相談件数の内訳(重複有)	退院後の相談	人	3,161	3,581																																												
	医療費の相談		542	586																																												
	福祉制度活用の相談		3,405	2,764																																												
	介護・療養上の相談		4,108	4,332																																												
	経済的な相談		94	105																																												
	心理情緒的な相談		99	67																																												
	家族の相談		301	159																																												
	就労・職場・教育の相談		12	8																																												
	その他		151	142																																												


② 安全で安心できる医療の推進

説明と同意のもとに患者が安心して良質な医療を受けられる体制や環境の充実を図ります。

取組事項		(11) 看護技能の向上																																			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 病床機能に応じた看護師の適正な配置を行うとともに、研修や院内教育を通じて、より専門性の高い知識や技術の習得に努めます。 																																				
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																															
		A	A	A	実施 																																
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年7月から7対1看護配置基準を取得して看護体制の充実と収益の向上に取り組んでいる。また、平成28年4月1日現在の看護師職員数(育児休暇・病気休暇取得者を除く)は153人となっている。 看護部における「キャリア開発サポートシステム」をベースに、各種院内研修や看護協会の研修等、院外の研修や学会等への参加を積極的に行い、より専門性の高い知識や技術の習得に努めている。 地域の基幹病院として医療・看護の質のさらなる向上を図るとともに、当院が必要と認める看護分野において熟練した看護技術と知識を用いた高水準の看護を実践できる看護師を育成するため、特定分野のエキスパートを目指す看護師の資格取得を支援する「認定看護師資格取得助成制度」を平成24年6月に創設し、平成28年度末現在で皮膚排泄ケア認定看護師(1名)・緩和ケア認定看護師(1名)・がん化学療法看護認定看護師(1名)・感染管理認定看護師(1名)・摂食嚥下障害看護認定看護師(1名)が配置されている。平成28年度は、4月に院内の認定看護師で組織する「市立千歳市民病院認定看護師の会unir(ユニール)」を設置し、院内スタッフへ向けた教育や、地域へ向けた啓発活動を行っている。 当市の地域特性及び助産師不足の現状を踏まえ、周産期医療を担う市民病院における助産師確保対策の一環として、助産師の育成及び安定的な確保を図るため、助産師の資格取得を支援する「助産師資格取得制度」を平成24年6月に創設している。 																																				
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護部研修等参加延べ人数(院内)</td> <td>人</td> <td>645</td> <td>603</td> </tr> <tr> <td>看護部研修等参加延べ人数(院外)</td> <td>人</td> <td>260</td> <td>173</td> </tr> </tbody> </table> <p>■認定看護師資格取得制度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「認定看護師資格取得助成制度」派遣者 ※1</td> <td>2名</td> <td>—</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>〃 (更新費用助成者) ※2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 派遣看護師の内訳 H26派遣者:感染管理1名、摂食・嚥下障害看護1名 H28派遣者:感染管理1名</p> <p>※2 更新費用助成者は、既に認定看護師資格を有する職員</p> <p>■助産師資格取得制度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「助産師資格取得制度」派遣者</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	看護部研修等参加延べ人数(院内)	人	645	603	看護部研修等参加延べ人数(院外)	人	260	173	項目	26年度	27年度	28年度	「認定看護師資格取得助成制度」派遣者 ※1	2名	—	1名	〃 (更新費用助成者) ※2	—	—	—	項目	26年度	27年度	28年度	「助産師資格取得制度」派遣者	—	—	—
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																		
看護部研修等参加延べ人数(院内)	人	645	603																																		
看護部研修等参加延べ人数(院外)	人	260	173																																		
項目	26年度	27年度	28年度																																		
「認定看護師資格取得助成制度」派遣者 ※1	2名	—	1名																																		
〃 (更新費用助成者) ※2	—	—	—																																		
項目	26年度	27年度	28年度																																		
「助産師資格取得制度」派遣者	—	—	—																																		

② 安全で安心できる医療の推進


説明と同意のもとに患者が安心して良質な医療を受けられる体制や環境の充実を図ります。

取組事項		(12) 設備の改良・充実																					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 療養、診療環境の快適性や安全性の向上を図るため、優先度や年度負担の平準化などを十分考慮しながら、設備の改良・充実に努めます。 																						
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																	
		A	A	A																			
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																		
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器等設備の改良・充実については、優先度や年度負担の平準化などを十分考慮しながら、中期経営計画の収支計画に示す建設改良費の範囲内で進めている。平成28年度の建設改良費は219,706千円となっており、計画値の249,072千円の範囲内となっている。 施設の機能向上を目的とした修繕については、修繕内容や費用を追加・変更しながら実施しており、平成28年度は、蒸気ボイラー連続ブロー装置取付修繕、直管蛍光ランプLED取替修繕、WHPエアコン用節電システム設置修繕などを実施している。 																						
参考指標等	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度別建設改良費</td> <td>千円</td> <td>192,067</td> <td>219,706</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設の主な機能向上修繕</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>修繕名</th> <th>金額(税込) 円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H28</td> <td>蒸気ボイラー連続ブロー装置取付修繕 (2号蒸気ボイラー連続ブロー装置取付)</td> <td>2,030,400</td> </tr> <tr> <td>直管蛍光ランプLED取替修繕 (LEDランプ20W: 256本、12W: 44本)</td> <td>3,186,000</td> </tr> <tr> <td>WHPエアコン用節電システム設置修繕 (WHPエアコン6台節電システム取付)</td> <td>4,903,200</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	年度別建設改良費	千円	192,067	219,706	年度	修繕名	金額(税込) 円	H28	蒸気ボイラー連続ブロー装置取付修繕 (2号蒸気ボイラー連続ブロー装置取付)	2,030,400	直管蛍光ランプLED取替修繕 (LEDランプ20W: 256本、12W: 44本)	3,186,000	WHPエアコン用節電システム設置修繕 (WHPエアコン6台節電システム取付)	4,903,200
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																				
年度別建設改良費	千円	192,067	219,706																				
年度	修繕名	金額(税込) 円																					
H28	蒸気ボイラー連続ブロー装置取付修繕 (2号蒸気ボイラー連続ブロー装置取付)	2,030,400																					
	直管蛍光ランプLED取替修繕 (LEDランプ20W: 256本、12W: 44本)	3,186,000																					
	WHPエアコン用節電システム設置修繕 (WHPエアコン6台節電システム取付)	4,903,200																					

目標の達成に向けた視点

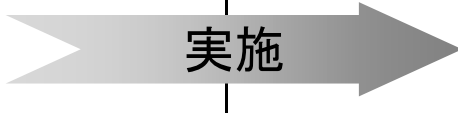
③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進

病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(13) 職員の資質向上																															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> EBM、EBN(科学的根拠に基づく医療、看護)を実践するとともに、医療技術や知識の習得等に必要な研究・研修機会の拡充、さらには資格取得の促進を図り、職員の資質や能力の向上に努めます。 																																
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																											
		A	A	A																													
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了																												
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療技術や知識の習得等に必要となる研修・研究の機会を充実し、認定医師や認定看護師、認定技師の資格取得など、職員のスキルアップを継続して支援している。 平成28年度の医師、看護部、コメディカル等による学会・研究会発表件数は49件、論文・誌上発表件数は29件となっている。 																																
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会・研究会発表件数(医師)</td> <td>件</td> <td>32</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>学会・研究会発表件数(看護部)</td> <td>件</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>学会・研究会発表件数(コメディカル等)</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>論文・誌上発表件数(医師)</td> <td>件</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>論文・誌上発表件数(看護部)</td> <td>件</td> <td>10</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>論文・誌上発表件数(コメディカル等)</td> <td>件</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	学会・研究会発表件数(医師)	件	32	30	学会・研究会発表件数(看護部)	件	10	8	学会・研究会発表件数(コメディカル等)	件	18	11	論文・誌上発表件数(医師)	件	15	13	論文・誌上発表件数(看護部)	件	10	9	論文・誌上発表件数(コメディカル等)	件	4	7
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																														
学会・研究会発表件数(医師)	件	32	30																														
学会・研究会発表件数(看護部)	件	10	8																														
学会・研究会発表件数(コメディカル等)	件	18	11																														
論文・誌上発表件数(医師)	件	15	13																														
論文・誌上発表件数(看護部)	件	10	9																														
論文・誌上発表件数(コメディカル等)	件	4	7																														

③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進

病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(14) 職種間の連携推進						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 多職種の職員による多角的な専門知識の集結と患者情報の共有化を図るとともに、職種間の連携や補完を推進し、質の高い医療を提供します。 							
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30		
		A	A	A				
	評価項目	A) 実施中		B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了		
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種の職員による多角的な専門知識の集結と患者情報の共有化を図るとともに、職種間の連携や補完を推進するため、研修会や勉強会の実施のほか、院内に51の各種病院委員会や会議を組織し、様々な議論を展開しながら、質の高い医療を提供している。 平成28年度の会議・委員会等開催数は538件となっている。 							
参考指標等	指標名		単位	H27実績値	H28実績値			
	会議・委員会等開催数		件	540	538			
	会議・委員会等構成一覧		H27開催数	H28開催数				
	1	管理者会議	12	12	27	TQM活動チーム	7	7
	2	幹部会議	12	12	28	病棟運営会議	18	26
	3	運営会議	12	12	29	化学療法委員会	6	5
	4	安全管理委員会	12	12	30	診療記録監査部会	12	12
	5	感染対策委員会	12	12	31	診療情報提供部会	-	-
	6	倫理審査委員会	7	5	32	BLS・AEDチーム	12	12
	7	臨床研修管理委員会	11	12	33	フットケア委員会	10	9
	8	手術室運営会議	4	3	34	災害対策委員会	7	10
	9	救急医療対策委員会	12	12	35	訓練・防災マニュアル部門	6	11
	10	臨床検査・輸血療法委員会	12	12	36	BCP(業務継続計画)部会	2	1
	11	クリニカルパス委員会	12	12	37	クリニカルインディケーター委員会 (旧)クリニカルインディケーターワーキンググループ含む	2	3
	12	褥瘡対策委員会	12	12	38	セイフティマネジメント(SM)部会	12	12
	13	薬事審議委員会	12	12	39	ICT	12	12
	14	栄養給食委員会	12	12	40	感染対策マネジメント部会	12	12
	15	診療報酬請求検討委員会	11	11	41	医局会議	12	12
	16	診療情報管理委員会	12	12	42	看護科長会議	36	32
	17	患者サービス向上委員会	12	12	43	拡大科長会議	10	9
	18	広報・図書委員会	12	12	44	看護係長会議	24	24
	19	健診センター運営委員会	1	1	45	看護部教育委員会	12	12
	20	医療機器管理委員会	10	12	46	看護部新人育成委員会	12	10
	21	透析機器安全管理委員会	2	2	47	看護研究サポートチーム	9	3
	22	医療ガス安全管理委員会	1	1	48	看護部医療安全対策委員会	12	12
	23	安全衛生委員会	11	12	49	看護部業務改善委員会	12	9
	24	緩和ケア委員会	11	11	50	看護部臨床指導者会議	-	-
	25	DPC実施対策委員会	12	12	51	事務局会議	12	12
	26	NST会議	22	21		合計	540	538

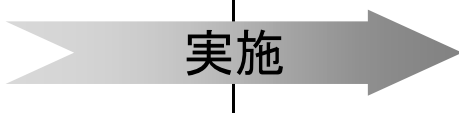
③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進

病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(15) 医師・看護師など医療スタッフの確保																				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや人材紹介システム・各種メディアの活用、医局への要請や関連学校への情報提供等を継続するとともに、医学部地域枠の卒業者や看護資格保持者の登録義務化等の動向を踏まえ、新たな対応策の検討を行うなど、医療スタッフ採用に向けた様々な活動に取り組みます。 研修プログラムや指導体制の充実を図り、臨床研修医を積極的に受け入れ、育成するとともに、その定着にも努めます。 																					
	総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30															
			A	A	A																	
	評価項目	A) 実施中		B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月1日付の常勤医師数は33名となり、昨年より2名減となっているが、大学医局への派遣要請活動等様々な医師確保対策を実施し、平成28年5月に泌尿器科の常勤医師を1名増員するなど、継続して医師確保対策に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ■医師確保対策 <ol style="list-style-type: none"> 大学医局への積極的な派遣要請活動の継続 市民病院ホームページ、医師転職雑誌等への広告掲載による公募 北海道東京事務所医師確保担当との連携 全国自治体病院協議会医師確保担当との連携 全国規模の民間事業者による医師専門人材紹介システム(成果報酬型)の活用 医師求人情報サイトへの登録 雇用環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助体制の充実(H28:18名配置) 応援出張医の確保 人事評価制度の継続運用と検証 臨床研修医の確保 多様化する医療ニーズに応え、安全で適切な医療を実施するため、看護師及びコメディカル(医療技術)部門のスタッフ確保も重要である。 看護師については、現状において7対1看護基準を維持するため、適宜採用・補充を行いながら人員を確保するほか、特定分野のエキスパートを目指す看護師のキャリアアップと士気高揚を目的として、認定看護師資格取得支援制度を導入しており、医療スタッフの定着化に向け魅力ある職場環境づくりを進めている。また、助産師不足の現状を踏まえ、周産期医療を担う市民病院における助産師確保対策の一環として、助産師の育成及び安定的な確保を図るため、助産師の資格取得を支援する「助産師資格取得制度」を平成24年6月に創設しており、継続して業務負担軽減等の勤務環境改善を図っている。 コメディカル部門等のスタッフ確保については、医療ソーシャルワーカー(相談員)、薬剤師、作業療法士、臨床工学技士などの人員不足が予測されているため、継続して人員確保に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> ■スタッフ確保対策 <ol style="list-style-type: none"> 学校等の授業、カリキュラム等への協力 学生等の実習受け入れ 学校等に対する採用予定情報の提供 新聞等のメディアを活用した募集活動の実施 病院医療職に係る条例定数の見直し 																					
	参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数(4月1日現在)</td> <td>人</td> <td>35</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医の確保数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>病院見学学生数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※職員数の詳細については、取組事項(21)組織体制の見直しの参考指標等欄「職員数の推移」参照</p>						指標名	単位	H27実績値	H28実績値	常勤医師数(4月1日現在)	人	35	33	初期臨床研修医の確保数	人	0	0	病院見学学生数	人	2
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																			
常勤医師数(4月1日現在)	人	35	33																			
初期臨床研修医の確保数	人	0	0																			
病院見学学生数	人	2	1																			


③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進

病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(16) 医師事務作業補助者の充実															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者の知識・資質の向上につながる教育や研修機会を拡充し、事務作業能力を高めるとともに、人員体制の強化や業務内容の見直しを行い、医師の負担軽減を図ります。 																
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30											
		A	A	A													
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了												
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各診療科へ医師事務作業補助者を配置し、医師の指示のもと、診断書などの文書作成補助、診療記録への代行入力、診療に関するデータ整理等を行い、医師の事務作業の軽減を図っている。 毎年、日本医師事務作業補助研究会全国大会への参加や勉強会の開催など、メディカルクラーク職員に対し研修機会等教育の場を設け、知識・資質の向上に努めている。 平成28年度は、メディカルクラーク職員数を3人増員し18人体制となり、配置診療科数は6箇所となっている。 																
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メディカルクラーク職員数</td> <td>人</td> <td>15</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>メディカルクラーク配置診療科数</td> <td>箇所</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	メディカルクラーク職員数	人	15	18	メディカルクラーク配置診療科数	箇所	5	6
指標名	単位	H27実績値	H28実績値														
メディカルクラーク職員数	人	15	18														
メディカルクラーク配置診療科数	箇所	5	6														


③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進

病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(17) クリニカル・インディケーターの充実																																																									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> クリニカル・インディケーター(病院の機能や診療状況を数値化した臨床指標)の充実を図り、医療の質の向上に繋げると同時に、市民への情報提供を積極的に進めます。 																																																										
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																					
		A	A	A																																																							
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了																																																						
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の補助事業「医療の質の評価・公表等推進事業」におけるクリニカルインディケーター(臨床指標)を参考に、平成23年度から臨床指標の作成を開始した(3分野12項目)。平成26年度にはワーキンググループを設置し(平成28年8月からクリニカルインディケーター委員会)、指標項目を拡大しながら、継続して分析・質改善に向けた検討を行い、医療の質向上に取り組んでいる。平成27年度から、この補助事業に採択された「全国自治体病院協議会」の事業に、平成28年度から採択実績のある「日本病院会QIプロジェクト」の事業に参加し、当院の臨床指標実績の外部評価・公表が行われるなど、全国水準の臨床指標項目に合わせた、医療の質改善に努めている。 平成28年度は、17分野54項目の指標に取り組むとともに、クリニカルインディケーター委員会にて、平成27年度に取り組んだ17分野52項目の臨床指標について、厚生労働省の取組や他の病院の臨床指標等を参考にしながら、分析や改善策の検討を行うとともに、各部署・部門における更なる医療の質改善を促しながら、結果を市民病院のホームページ等で公表している。 																																																										
参考指標等	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルインディケーターの項目数</td> <td>項目</td> <td>52</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	クリニカルインディケーターの項目数	項目	52	54																																														
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																							
クリニカルインディケーターの項目数	項目	52	54																																																								
	<p>クリニカルインディケーター(平成28年度実績 17分野54項目)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>分野名</th> <th>項目数</th> <th>項目内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 病院全体</td><td>10項目</td><td>主要疾患別患者数(退院診療科) ほか</td></tr> <tr><td>2 報告・記録</td><td>1項目</td><td>退院サマリー2週間以内完成率</td></tr> <tr><td>3 予防医療</td><td>2項目</td><td>健診における胃内視鏡検査で腫瘍性病変を発見した率 ほか</td></tr> <tr><td>4 研究・教育・研修</td><td>4項目</td><td>死亡退院患者剖検率、学術発表件数 ほか</td></tr> <tr><td>5 患者満足</td><td>3項目</td><td>患者満足度調査結果(外来患者)、(入院患者) ほか</td></tr> <tr><td>6 看護</td><td>1項目</td><td>褥瘡発生率</td></tr> <tr><td>7 薬剤</td><td>1項目</td><td>薬剤管理指導</td></tr> <tr><td>8 検査・画像</td><td>1項目</td><td>他病院からの受託検査</td></tr> <tr><td>9 救急</td><td>4項目</td><td>救急車ホットライン応需率 ほか</td></tr> <tr><td>10 地域連携</td><td>3項目</td><td>紹介率、逆紹介率 ほか</td></tr> <tr><td>11 医療安全</td><td>2項目</td><td>転倒・転落発生率と転倒・転落による損傷・骨折・頭蓋内出血の発生率 ほか</td></tr> <tr><td>12 感染管理</td><td>2項目</td><td>術後創感染症発生率 ほか</td></tr> <tr><td>13 手術・処置</td><td>6項目</td><td>乳癌患者での乳房温存手術の割合 ほか</td></tr> <tr><td>14 周産期・小児</td><td>6項目</td><td>初産婦の帝王切開率 ほか</td></tr> <tr><td>15 脳・神経</td><td>1項目</td><td>心房細動を診断された脳卒中患者への抗凝固薬の処方率 ほか</td></tr> <tr><td>16 循環器系</td><td>5項目</td><td>急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 ほか</td></tr> <tr><td>17 リハビリテーション</td><td>2項目</td><td>脳梗塞における入院後早期リハビリテーション実施患者割合 ほか</td></tr> </tbody> </table> <p>クリニカル・インディケーター(ClinicalIndicator・臨床指標)は、病院の様々な機能や活動、診療の状況などを適切な指標を用いて表したものであり、この指標を分析し、改善することにより医療サービスの質の向上や透明性の確保を図っています。</p>					分野名	項目数	項目内容	1 病院全体	10項目	主要疾患別患者数(退院診療科) ほか	2 報告・記録	1項目	退院サマリー2週間以内完成率	3 予防医療	2項目	健診における胃内視鏡検査で腫瘍性病変を発見した率 ほか	4 研究・教育・研修	4項目	死亡退院患者剖検率、学術発表件数 ほか	5 患者満足	3項目	患者満足度調査結果(外来患者)、(入院患者) ほか	6 看護	1項目	褥瘡発生率	7 薬剤	1項目	薬剤管理指導	8 検査・画像	1項目	他病院からの受託検査	9 救急	4項目	救急車ホットライン応需率 ほか	10 地域連携	3項目	紹介率、逆紹介率 ほか	11 医療安全	2項目	転倒・転落発生率と転倒・転落による損傷・骨折・頭蓋内出血の発生率 ほか	12 感染管理	2項目	術後創感染症発生率 ほか	13 手術・処置	6項目	乳癌患者での乳房温存手術の割合 ほか	14 周産期・小児	6項目	初産婦の帝王切開率 ほか	15 脳・神経	1項目	心房細動を診断された脳卒中患者への抗凝固薬の処方率 ほか	16 循環器系	5項目	急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 ほか	17 リハビリテーション	2項目	脳梗塞における入院後早期リハビリテーション実施患者割合 ほか
分野名	項目数	項目内容																																																									
1 病院全体	10項目	主要疾患別患者数(退院診療科) ほか																																																									
2 報告・記録	1項目	退院サマリー2週間以内完成率																																																									
3 予防医療	2項目	健診における胃内視鏡検査で腫瘍性病変を発見した率 ほか																																																									
4 研究・教育・研修	4項目	死亡退院患者剖検率、学術発表件数 ほか																																																									
5 患者満足	3項目	患者満足度調査結果(外来患者)、(入院患者) ほか																																																									
6 看護	1項目	褥瘡発生率																																																									
7 薬剤	1項目	薬剤管理指導																																																									
8 検査・画像	1項目	他病院からの受託検査																																																									
9 救急	4項目	救急車ホットライン応需率 ほか																																																									
10 地域連携	3項目	紹介率、逆紹介率 ほか																																																									
11 医療安全	2項目	転倒・転落発生率と転倒・転落による損傷・骨折・頭蓋内出血の発生率 ほか																																																									
12 感染管理	2項目	術後創感染症発生率 ほか																																																									
13 手術・処置	6項目	乳癌患者での乳房温存手術の割合 ほか																																																									
14 周産期・小児	6項目	初産婦の帝王切開率 ほか																																																									
15 脳・神経	1項目	心房細動を診断された脳卒中患者への抗凝固薬の処方率 ほか																																																									
16 循環器系	5項目	急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 ほか																																																									
17 リハビリテーション	2項目	脳梗塞における入院後早期リハビリテーション実施患者割合 ほか																																																									

③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進


病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(18) クリニカルパスの推進																
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 入院から退院までの診療過程を患者にわかりやすく説明するなど、クリニカルパス(疾患別医療の標準治療計画表で、入院から退院までに行われる検査・処置・指導・看護・食事などをまとめた表)の充実を図り、診療の標準化や業務手順の明確化等に努めます。 																	
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30												
		A	A	A														
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了													
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度のクリニカルパス委員会開催数は12回で、クリニカルパス改定数は61種類となっている。 平成28年度のクリニカルパスの種類数は124種類、入院症例数は7,486件、クリニカルパス使用症例件数は3,368件、クリニカルパス適用率は45%となっており、クリニカルパスの充実を図り、診療の標準化や業務手順の明確化等に努めている。 																	
参考指標等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパスの種類数</td> <td>種類</td> <td>120</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率 <small>※クリニカルパス使用症例件数/入院症例数×100</small></td> <td>%</td> <td>46</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	H27実績値	H28実績値	クリニカルパスの種類数	種類	120	124	クリニカルパス適用率 <small>※クリニカルパス使用症例件数/入院症例数×100</small>	%	46	45
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値														
	クリニカルパスの種類数	種類	120	124														
	クリニカルパス適用率 <small>※クリニカルパス使用症例件数/入院症例数×100</small>	%	46	45														
	平成28年度パス適用件数																	
	内科		小児科		外科		整形外科											
	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率									
	824	0	0%	1,285	922	72%	399	222	56%	871	342	39%						
	産婦人科		耳鼻咽喉科		眼科		皮膚科											
	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率						
	973	772	79%	401	148	37%	213	198	93%	51	0	0%						
	泌尿器科		脳神経外科		循環器科		消化器科											
	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率	全体数	パス適用	適用率						
	281	57	20%	253	0	0%	1,035	450	43%	900	257	29%						
	麻酔科						合計											
全体数	パス適用	適用率					全体数	パス適用	適用率									
0	0	0%					7,486	3,368	45%									

| クリニカルパスとは、一定の疾患を持つ患者に対して、臨床的根拠に基づき入院指導、予定検査、食事指導、安静度、理学療法、退院指導などの予定を、入院後の日数を横軸に、ケア内容を縦軸にして、スケジュール表のようにまとめたものと定義されています。 医師ごとに治療の内容が変わるということはないように、クリニカルパスによって診療計画が標準化されるとともに、科学的根拠に基づいた最善の治療法が取り入れられることから、医療の質が向上し、医療安全対策に寄与するほか、効率的な治療により入院期間の短縮等患者の負担を軽減します。 また、クリニカルパスを活用し、患者に入院から退院までの診療スケジュールをわかりやすく情報提供することにより、患者も家族も安心して入院生活を送ることができるようになり、患者への説明と同意の充実も図られることから、現在では主な医療機関が導入しています。 市民病院では、医師、看護師、薬剤師などで構成するクリニカルパス委員会を平成16年度に立ち上げ、これまで124種類の疾患に対するクリニカルパスを作成し、運用しており、医師、看護師、コメディカルが連携して行うチーム医療の推進にも役立っています。具体的には、外科では虫垂炎や結腸の摘出術等、消化器科では大腸ポリープの摘出術等、循環器科では心臓カテーテル検査や心筋梗塞等に対するクリニカルパスがあります。 | | | | | |


③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進

病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(19) 患者満足度調査の実施																																																								
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 患者満足度に関する調査を定期的実施し、医療や看護の質の充実に活用するとともに、患者サービスの向上に必要な取組を行い、その結果を院内掲示やホームページで公表します。 																																																									
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																				
		A	A	A																																																						
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																																					
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査は、医療の質を測るための直接的な評価指標となるほか、各部署においては満足度を高めるための指標にすることができ、平成28年度は8月から10月まで実施している。評価方法は、各科の待合室の設備や雰囲気(外来部門)、診療待ち時間(外来部門)、病室の居心地(入院部門)や職員の言葉づかい(外来・入院部門共通)等の個別項目に対し点数評価し、その平均評価点を総合評価点として算出している。平成28年度実施結果は、外来部門については、回答者数466人、総合評価点は78.6点、入院部門については回答者数244人、総合評価点は87.5点となっており、院内掲示やホームページで公表している。 院内に意見投書箱を設置して、利用者から寄せられる意見などを、患者サービス向上委員会で随時検討を行いながら、より快適な医療環境の実現に向けた対応を実施している。平成28年度に意見投書箱に寄せられた件数は110件となっている。 																																																									
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意見投書箱件数</td> <td>件</td> <td>128</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>患者満足度調査(入院・外来)の実施数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>患者満足度調査総合評価点(外来)</td> <td>点</td> <td>77.8</td> <td>78.6</td> </tr> <tr> <td>患者満足度調査総合評価点(入院)</td> <td>点</td> <td>86.6</td> <td>87.5</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	意見投書箱件数	件	128	110	患者満足度調査(入院・外来)の実施数	回	1	1	患者満足度調査総合評価点(外来)	点	77.8	78.6	患者満足度調査総合評価点(入院)	点	86.6	87.5	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">患者さま満足度調査(外来部門)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">H28.8.29、9.2実施 回答者数466人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">平均年齢51.3歳 男性:46.2%、女性:53.8%</td> </tr> <tr> <th>個別項目(抜粋)</th> <th>非常に満足・満足</th> <th>どちらともいえない</th> <th>やや不満・不満</th> </tr> <tr> <td>施設面全般について</td> <td>81.3%</td> <td>17.3%</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>接遇面全般について</td> <td>84.1%</td> <td>14.4%</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>診療面全般について</td> <td>83.8%</td> <td>13.4%</td> <td>2.8%</td> </tr> <tr> <td>時間面全体について</td> <td>39.9%</td> <td>34.6%</td> <td>25.5%</td> </tr> </tbody> </table>		患者さま満足度調査(外来部門)				H28.8.29、9.2実施 回答者数466人				平均年齢51.3歳 男性:46.2%、女性:53.8%				個別項目(抜粋)	非常に満足・満足	どちらともいえない	やや不満・不満	施設面全般について	81.3%	17.3%	1.4%	接遇面全般について	84.1%	14.4%	1.5%	診療面全般について	83.8%	13.4%	2.8%	時間面全体について	39.9%	34.6%	25.5%
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																							
意見投書箱件数	件	128	110																																																							
患者満足度調査(入院・外来)の実施数	回	1	1																																																							
患者満足度調査総合評価点(外来)	点	77.8	78.6																																																							
患者満足度調査総合評価点(入院)	点	86.6	87.5																																																							
患者さま満足度調査(外来部門)																																																										
H28.8.29、9.2実施 回答者数466人																																																										
平均年齢51.3歳 男性:46.2%、女性:53.8%																																																										
個別項目(抜粋)	非常に満足・満足	どちらともいえない	やや不満・不満																																																							
施設面全般について	81.3%	17.3%	1.4%																																																							
接遇面全般について	84.1%	14.4%	1.5%																																																							
診療面全般について	83.8%	13.4%	2.8%																																																							
時間面全体について	39.9%	34.6%	25.5%																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">患者さま満足度調査(入院部門)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">H28.8.29～10.14実施 回答者数244人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">平均年齢45.5歳 男性:48.9%、女性51.1%</td> </tr> <tr> <th>個別項目(抜粋)</th> <th>非常に満足・満足</th> <th>どちらともいえない</th> <th>やや不満・不満</th> </tr> <tr> <td>施設面全般について</td> <td>88.0%</td> <td>10.8%</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>病室環境面全般について</td> <td>86.7%</td> <td>11.2%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>接遇面全般について</td> <td>85.9%</td> <td>11.9%</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>診療面全般について</td> <td>91.4%</td> <td>6.0%</td> <td>2.5%</td> </tr> </tbody> </table>				患者さま満足度調査(入院部門)				H28.8.29～10.14実施 回答者数244人				平均年齢45.5歳 男性:48.9%、女性51.1%				個別項目(抜粋)	非常に満足・満足	どちらともいえない	やや不満・不満	施設面全般について	88.0%	10.8%	1.3%	病室環境面全般について	86.7%	11.2%	2.1%	接遇面全般について	85.9%	11.9%	2.2%	診療面全般について	91.4%	6.0%	2.5%	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>60.0 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前回調査との差:-3.2 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査病院平均との差:+12.2 分</td> </tr> </tbody> </table>		平均待ち時間	60.0 分		前回調査との差:-3.2 分		調査病院平均との差:+12.2 分														
患者さま満足度調査(入院部門)																																																										
H28.8.29～10.14実施 回答者数244人																																																										
平均年齢45.5歳 男性:48.9%、女性51.1%																																																										
個別項目(抜粋)	非常に満足・満足	どちらともいえない	やや不満・不満																																																							
施設面全般について	88.0%	10.8%	1.3%																																																							
病室環境面全般について	86.7%	11.2%	2.1%																																																							
接遇面全般について	85.9%	11.9%	2.2%																																																							
診療面全般について	91.4%	6.0%	2.5%																																																							
平均待ち時間	60.0 分																																																									
	前回調査との差:-3.2 分																																																									
	調査病院平均との差:+12.2 分																																																									

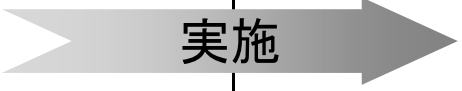
③ 医療・看護の質の向上とチーム医療の推進

病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、チーム医療体制の充実を図ります。

取組事項		(20) 認定病院の水準維持・向上																															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種学会等の基準を満たした認定施設の取得や病院機能評価の認定水準を維持するとともに、適宜更新を検討し、専門性の高い医療の提供や医療機能の維持・向上を図ります。 																																
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																											
		A	A	A																													
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																												
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の認定施設取得件数は14件となっている。 病院機能評価は、「公益財団法人日本医療機能評価機構」が病院に必要とされる機能を評価し、評価項目全てにおいて一定の基準を満たした病院が認定される。当院においては、平成18年12月に病院機能評価(Ver.5.0)の新規認定を受け、平成23年度に病院機能評価(Ver.6.0)を認定更新している。平成28年度は、3度目の認定に向け病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)を受審し、評価対象項目となる86項目のうち、S評価が1項目、A評価が83項目、B評価が2項目となる大変高い評価で認定更新しており、質の高い医療の提供と医療機能の維持・向上に努めている。 																																
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定施設取得件数</td> <td>件</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>病院機能評価認定</td> <td colspan="3">平成29年2月に「3rdG:Ver.1.1」へ認定更新</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	認定施設取得件数	件	14	14	病院機能評価認定	平成29年2月に「3rdG:Ver.1.1」へ認定更新																		
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																													
認定施設取得件数	件	14	14																														
病院機能評価認定	平成29年2月に「3rdG:Ver.1.1」へ認定更新																																
	<p>認定施設取得内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>日本内科学会認定医教育関連施設</td></tr> <tr><td>2</td><td>日本呼吸器学会認定施設</td></tr> <tr><td>3</td><td>日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設</td></tr> <tr><td>4</td><td>日本糖尿病学会専門医制度認定教育施設</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本消化器病学会専門医認定施設</td></tr> <tr><td>6</td><td>日本消化器内視鏡学会指導施設</td></tr> <tr><td>7</td><td>日本小児科学会専門医制度研修施設</td></tr> <tr><td>8</td><td>日本外科学会外科専門医制度関連施設</td></tr> <tr><td>9</td><td>日本整形外科学会専門医研修施設</td></tr> <tr><td>10</td><td>日本眼科学会専門医制度研修施設</td></tr> <tr><td>11</td><td>日本皮膚科学会認定専門医研修施設</td></tr> <tr><td>12</td><td>日本泌尿器科学会専門医関連教育施設</td></tr> <tr><td>13</td><td>日本病理学会研修登録施設</td></tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度取得</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>日本麻酔科学会認定施設</td> </tr> </tbody> </table>					1	日本内科学会認定医教育関連施設	2	日本呼吸器学会認定施設	3	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	4	日本糖尿病学会専門医制度認定教育施設	5	日本消化器病学会専門医認定施設	6	日本消化器内視鏡学会指導施設	7	日本小児科学会専門医制度研修施設	8	日本外科学会外科専門医制度関連施設	9	日本整形外科学会専門医研修施設	10	日本眼科学会専門医制度研修施設	11	日本皮膚科学会認定専門医研修施設	12	日本泌尿器科学会専門医関連教育施設	13	日本病理学会研修登録施設	14	日本麻酔科学会認定施設
1	日本内科学会認定医教育関連施設																																
2	日本呼吸器学会認定施設																																
3	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設																																
4	日本糖尿病学会専門医制度認定教育施設																																
5	日本消化器病学会専門医認定施設																																
6	日本消化器内視鏡学会指導施設																																
7	日本小児科学会専門医制度研修施設																																
8	日本外科学会外科専門医制度関連施設																																
9	日本整形外科学会専門医研修施設																																
10	日本眼科学会専門医制度研修施設																																
11	日本皮膚科学会認定専門医研修施設																																
12	日本泌尿器科学会専門医関連教育施設																																
13	日本病理学会研修登録施設																																
14	日本麻酔科学会認定施設																																

④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(21) 組織体制の見直し																																																																											
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療の技術水準の高度化や患者ニーズの変化、さらには院内の経営課題に対処するため、適宜組織や部門の見直し、体制強化を行うとともに、必要な人員の配置に努めます。 																																																																												
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																																							
		A	A	A																																																																									
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																																																								
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の診療科数は13科となっている。 (内科、循環器科、消化器科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科) 平成28年度は、深刻な医師不足の中、医療の質のさらなる向上を図るため、平成28年5月に泌尿器科の常勤医師を1名増員し2名体制とし、平成28年7月から腎臓外来を開設している。 組織体制の見直しについて、平成25年度は医療の安全・安心と質の向上への的確な対応が求められていることから、医療安全に関する総合的な施策を病院全体で組織的に推進するため、医療安全管理室及び感染対策室を設置している。 																																																																												
参考指標等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科数</td> <td>科</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>職員数(4月1日現在) <small>※育児休暇・病気休暇取得者を除く</small></td> <td>人</td> <td>256</td> <td>258</td> </tr> </tbody> </table> <p>職員数の推移 (単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H27.4.1現在</th> <th>H28.4.1現在</th> <th>増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>常勤医師</td><td>35</td><td>33</td><td>▲2</td></tr> <tr><td>助産師</td><td>12</td><td>12</td><td>0</td></tr> <tr><td>看護師(准看護師含む)</td><td>152</td><td>153</td><td>1</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>5</td><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>6</td><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>7</td><td>6</td><td>▲1</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床工学技師</td><td>5</td><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>視能訓練士</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td></tr> <tr><td>医療ソーシャルワーカー</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>事務職員</td><td>24</td><td>26</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>256</td><td>258</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> <p>(育児休暇・病気休暇取得者を除く)</p>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	診療科数	科	13	13	職員数(4月1日現在) <small>※育児休暇・病気休暇取得者を除く</small>	人	256	258	区分	H27.4.1現在	H28.4.1現在	増減数	常勤医師	35	33	▲2	助産師	12	12	0	看護師(准看護師含む)	152	153	1	薬剤師	5	5	0	放射線技師	6	7	1	臨床検査技師	7	6	▲1	理学療法士	4	4	0	作業療法士	1	1	0	臨床工学技師	5	5	0	視能訓練士	1	1	0	管理栄養士	2	3	1	医療ソーシャルワーカー	2	2	0	事務職員	24	26	2	合計	256	258	2
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																																										
診療科数	科	13	13																																																																										
職員数(4月1日現在) <small>※育児休暇・病気休暇取得者を除く</small>	人	256	258																																																																										
区分	H27.4.1現在	H28.4.1現在	増減数																																																																										
常勤医師	35	33	▲2																																																																										
助産師	12	12	0																																																																										
看護師(准看護師含む)	152	153	1																																																																										
薬剤師	5	5	0																																																																										
放射線技師	6	7	1																																																																										
臨床検査技師	7	6	▲1																																																																										
理学療法士	4	4	0																																																																										
作業療法士	1	1	0																																																																										
臨床工学技師	5	5	0																																																																										
視能訓練士	1	1	0																																																																										
管理栄養士	2	3	1																																																																										
医療ソーシャルワーカー	2	2	0																																																																										
事務職員	24	26	2																																																																										
合計	256	258	2																																																																										

④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(22) 適正な診療報酬の確保																				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬に係る各種情報の収集や職員研修の実施、返戻・査定減の縮減を図るための検討・分析などを通じて、適正な診療報酬の確保に努めます。 																					
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																
		A	A	A																		
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																	
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 当院は平成21年4月1日に、厚生労働省からDPC/PDPS(診断群分類別包括評価)の対象病院として認可される。当制度により医療の標準化と透明化、診療の質の向上を図れ、かつ、患者にとっては経済的・精神的負担の軽減につながっている。 専門知識を持ったコンサルティング会社の支援を受け、院内研修会や部署別学習会などを実施し、情報収集や職員の知識向上に努めており、平成28年度のDPC研修会(年2回)出席者数は85名、DPC診療科ミーティング開催数は4回となっている。 DPC実施対策委員会を毎月開催し、査定減の内容分析やDPC制度対応の成果を報告するとともに、課題等について検討を行っている。 																					
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DPC研修会出席者数</td> <td>人</td> <td>142</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>DPC診療科ミーティング開催数</td> <td>回</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>診療報酬査定率 <small>※診療報酬請求額/査定額×100</small></td> <td>%</td> <td>0.34</td> <td>0.35</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	DPC研修会出席者数	人	142	85	DPC診療科ミーティング開催数	回	6	4	診療報酬査定率 <small>※診療報酬請求額/査定額×100</small>	%	0.34	0.35	<p>☆DPC/PDPSとは (診断群分類別包括評価)</p> <p>DPC/PDPSとは、これまでのすべての診療行為を積み上げて医療費を算定する「出来高払い方式」とは異なり、病名と手術・処置等の内容に応じて分類された診断群分類により決められた1日当たりの標準的な点数を基本に、入院日数に応じて計算する「包括評価支払い方式」です。(右図参照)</p>	
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																		
DPC研修会出席者数	人	142	85																			
DPC診療科ミーティング開催数	回	6	4																			
診療報酬査定率 <small>※診療報酬請求額/査定額×100</small>	%	0.34	0.35																			
	<p>従来の出来高払い方式 (すべての診療料の合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院基本料 投薬・注射料 処置料 検査料 画像診断料 手術・麻酔料 リハビリテーション料 		<p>包括評価支払い方式 (包括点数と出来高点数の合計)</p> <p>包括評価部分</p> <p>診断群分類別の1日当たりの包括点数×入院日数</p> <p>出来高評価部分</p> <p>検査の一部 処置の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術・麻酔料 リハビリテーション料 																			


④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(23) 増収対策の実施																																																							
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種診療報酬等の加算についての検討、取組を行い、収益の増加に努めます。 公的扶助制度や医療費助成制度などの活用、医療相談担当者と医師・看護師等との情報共有により、未収金の発生を未然に防止します。 専任担当者による収納推進業務の継続的な実施や法的な措置を含む対応を行い、未収金の回収を進めます。 																																																								
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																			
		A	A	A																																																					
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了																																																				
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種認定施設の取得を行い、診療報酬の維持、加算等に向けた取組を行っている。 平成28年度の保険診療研修会の開催数は1回、DPC診療による増収は、出来高方式による請求額と比較し、81,319千円の増収となっている。 未納金のある患者に対し、電話や文書による催告、戸別訪問を滞納早期から継続的に実施し、未収金の縮減に努めるほか、未収金の発生を未然に防ぐため、平成22年度にクレジットカード払いの利用を活用し、患者の医療費支払いの利便性を向上させており、平成28年度の支払件数140,372件のうち、クレジット利用件数は13,605件で利用率は9.7%となっている。 平成26年5月より、院内での回収困難な未収金については、弁護士への回収を委任しており、平成28年度末累計で14.4%の回収成果を上げている。 																																																								
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険診療研修会の開催数</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>DPC診療による増収(請求)額 <small>DPCによる請求額-出来高による請求額(年額)</small></td> <td>千円</td> <td>80,397</td> <td>81,319</td> </tr> <tr> <td>過年度未収金収納率 <small>※過年度未収金収入額/過年度未収金調定額×100</small></td> <td>%</td> <td>98.1</td> <td>98.4</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	保険診療研修会の開催数	回	2	1	DPC診療による増収(請求)額 <small>DPCによる請求額-出来高による請求額(年額)</small>	千円	80,397	81,319	過年度未収金収納率 <small>※過年度未収金収入額/過年度未収金調定額×100</small>	%	98.1	98.4																																				
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																					
保険診療研修会の開催数	回	2	1																																																						
DPC診療による増収(請求)額 <small>DPCによる請求額-出来高による請求額(年額)</small>	千円	80,397	81,319																																																						
過年度未収金収納率 <small>※過年度未収金収入額/過年度未収金調定額×100</small>	%	98.1	98.4																																																						
	<p>平成28年度 診療報酬の維持・加算等に係る行政官庁認可事項</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請先</th> <th>件名</th> <th>認可年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>医師事務作業補助体制加算1の施設基準に係る届出</td> <td>平成28年 4月26日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>透析液水質確保加算2の施設基準に係る届出</td> <td>平成28年 9月15日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出</td> <td>平成28年11月 1日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>急性期看護補助体制加算の施設基準に係る届出</td> <td>平成28年11月 1日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出</td> <td>平成28年11月15日</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>下肢末梢動脈疾患指導管理加算の施設基準に係る届出</td> <td>平成28年12月15日</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>感染防止対策加算1の施設基準に係る届出</td> <td>平成29年 1月 4日</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>医師事務作業補助体制加算1の施設基準に係る届出</td> <td>平成29年 1月16日</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>院内トリアージ実施料の施設基準に係る届出</td> <td>平成29年 2月15日</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>外来化学療法加算2の施設基準に係る届出</td> <td>平成29年 3月 1日</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>地域包括ケア入院医療管理料1の施設基準に係る届出</td> <td>平成29年 3月15日</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>北海道 厚生局長</td> <td>一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出</td> <td>平成29年 3月15日</td> </tr> </tbody> </table>						申請先	件名	認可年月日	1	北海道 厚生局長	医師事務作業補助体制加算1の施設基準に係る届出	平成28年 4月26日	2	北海道 厚生局長	透析液水質確保加算2の施設基準に係る届出	平成28年 9月15日	3	北海道 厚生局長	一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出	平成28年11月 1日	4	北海道 厚生局長	急性期看護補助体制加算の施設基準に係る届出	平成28年11月 1日	5	北海道 厚生局長	一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出	平成28年11月15日	6	北海道 厚生局長	下肢末梢動脈疾患指導管理加算の施設基準に係る届出	平成28年12月15日	7	北海道 厚生局長	感染防止対策加算1の施設基準に係る届出	平成29年 1月 4日	8	北海道 厚生局長	医師事務作業補助体制加算1の施設基準に係る届出	平成29年 1月16日	9	北海道 厚生局長	院内トリアージ実施料の施設基準に係る届出	平成29年 2月15日	10	北海道 厚生局長	外来化学療法加算2の施設基準に係る届出	平成29年 3月 1日	11	北海道 厚生局長	地域包括ケア入院医療管理料1の施設基準に係る届出	平成29年 3月15日	12	北海道 厚生局長	一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出	平成29年 3月15日
	申請先	件名	認可年月日																																																						
1	北海道 厚生局長	医師事務作業補助体制加算1の施設基準に係る届出	平成28年 4月26日																																																						
2	北海道 厚生局長	透析液水質確保加算2の施設基準に係る届出	平成28年 9月15日																																																						
3	北海道 厚生局長	一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出	平成28年11月 1日																																																						
4	北海道 厚生局長	急性期看護補助体制加算の施設基準に係る届出	平成28年11月 1日																																																						
5	北海道 厚生局長	一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出	平成28年11月15日																																																						
6	北海道 厚生局長	下肢末梢動脈疾患指導管理加算の施設基準に係る届出	平成28年12月15日																																																						
7	北海道 厚生局長	感染防止対策加算1の施設基準に係る届出	平成29年 1月 4日																																																						
8	北海道 厚生局長	医師事務作業補助体制加算1の施設基準に係る届出	平成29年 1月16日																																																						
9	北海道 厚生局長	院内トリアージ実施料の施設基準に係る届出	平成29年 2月15日																																																						
10	北海道 厚生局長	外来化学療法加算2の施設基準に係る届出	平成29年 3月 1日																																																						
11	北海道 厚生局長	地域包括ケア入院医療管理料1の施設基準に係る届出	平成29年 3月15日																																																						
12	北海道 厚生局長	一般病棟入院基本料の施設基準に係る届出	平成29年 3月15日																																																						

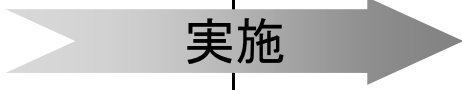
④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(24) 病床の効率的な運用																																																																																																								
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスの適応拡大や見直しを進め、適切な在院日数を管理するとともに、ベッドコントロール機能の強化などを行い、病床の効率的な運用を図ります。 																																																																																																									
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																				
		A	A	A																																																																																																						
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																																																																																					
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 病床管理(ベッドコントロール)は、診療科ごとに病床数の割り当てを行っており、通常はその割り当て病床数の範囲内で対応していますが、季節によって一部診療科に偏りがあることもあり、随時、臨機応変に対応して、診療科の枠を超えた病棟・病床の活用など、効率的な病床管理を行っている。 クリニカルパス委員会では、毎月実績報告やパス内容の見直しを行っており、平成28年度は新規パス4件、改定パス61件となっており、現在124種類となっている。 																																																																																																									
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス改定数</td> <td>種類</td> <td>61</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス委員会開催数</td> <td>回</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>日</td> <td>10.3</td> <td>11.0</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	クリニカルパス改定数	種類	61	61	クリニカルパス委員会開催数	回	12	12	平均在院日数	日	10.3	11.0																																																																																						
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																																																																						
	クリニカルパス改定数	種類	61	61																																																																																																						
	クリニカルパス委員会開催数	回	12	12																																																																																																						
平均在院日数	日	10.3	11.0																																																																																																							
平成28年度 各病棟別病床利用率																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>3階東病棟</th> <th>3階西病棟</th> <th>4階東病棟</th> <th>4階西病棟</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数</td> <td>51</td> <td>55</td> <td>52</td> <td>32</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>入院患者延べ数(人)</td> <td>12,806</td> <td>17,002</td> <td>14,446</td> <td>10,679</td> <td>54,933</td> </tr> <tr> <td>1日平均患者数(人)</td> <td>35.1</td> <td>46.6</td> <td>39.6</td> <td>29.3</td> <td>150.5</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>68.8</td> <td>84.7</td> <td>76.1</td> <td>91.4</td> <td>79.2</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>5.7</td> <td>20.9</td> <td>14.1</td> <td>10.6</td> <td>11.0</td> </tr> </tbody> </table>						3階東病棟	3階西病棟	4階東病棟	4階西病棟	合計	病床数	51	55	52	32	190	入院患者延べ数(人)	12,806	17,002	14,446	10,679	54,933	1日平均患者数(人)	35.1	46.6	39.6	29.3	150.5	病床利用率(%)	68.8	84.7	76.1	91.4	79.2	平均在院日数(日)	5.7	20.9	14.1	10.6	11.0																																																																		
	3階東病棟	3階西病棟	4階東病棟	4階西病棟	合計																																																																																																					
病床数	51	55	52	32	190																																																																																																					
入院患者延べ数(人)	12,806	17,002	14,446	10,679	54,933																																																																																																					
1日平均患者数(人)	35.1	46.6	39.6	29.3	150.5																																																																																																					
病床利用率(%)	68.8	84.7	76.1	91.4	79.2																																																																																																					
平均在院日数(日)	5.7	20.9	14.1	10.6	11.0																																																																																																					
平成28年度 診療科別・病棟別病床配分																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">診療科</th> <th rowspan="2">平成28年度 病床数</th> <th colspan="4">内 訳</th> <th rowspan="2">平成27年度 病床数</th> </tr> <tr> <th>3階東病棟</th> <th>3階西病棟</th> <th>4階東病棟</th> <th>4階西病棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科</td> <td>34</td> <td></td> <td>33</td> <td></td> <td>1</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>27</td> <td></td> <td>19</td> <td>8</td> <td></td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>19</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td>13</td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>30</td> <td>8</td> <td></td> <td>22</td> <td></td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>18</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>耳鼻咽喉科</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>3</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>190</td> <td>51</td> <td>55</td> <td>52</td> <td>32</td> <td>190</td> </tr> </tbody> </table>					診療科	平成28年度 病床数	内 訳				平成27年度 病床数	3階東病棟	3階西病棟	4階東病棟	4階西病棟	内科	34		33		1	34	循環器科	21				21	20	消化器科	27		19	8		25	小児科	19	19				19	外科	13			13		15	脳神経外科	10				10	10	整形外科	30	8		22		36	産婦人科	18	18				15	耳鼻咽喉科	6	6				5	眼科	4			4		5	皮膚科	3		3			3	泌尿器科	5			5		3	合計	190	51	55	52	32	190
診療科	平成28年度 病床数	内 訳					平成27年度 病床数																																																																																																			
		3階東病棟	3階西病棟	4階東病棟	4階西病棟																																																																																																					
内科	34		33		1	34																																																																																																				
循環器科	21				21	20																																																																																																				
消化器科	27		19	8		25																																																																																																				
小児科	19	19				19																																																																																																				
外科	13			13		15																																																																																																				
脳神経外科	10				10	10																																																																																																				
整形外科	30	8		22		36																																																																																																				
産婦人科	18	18				15																																																																																																				
耳鼻咽喉科	6	6				5																																																																																																				
眼科	4			4		5																																																																																																				
皮膚科	3		3			3																																																																																																				
泌尿器科	5			5		3																																																																																																				
合計	190	51	55	52	32	190																																																																																																				

④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(25) 経営分析の強化																																															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経常収支比率や医業収支比率などの各種経営指標を活用した分析、医療情報システムに蓄積されたデータに基づく経営分析を行い、病院経営の安定化に向けた効果的な取組を推進するとともに、診療科別損益計算の導入について検討を進めます。 																																																
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																											
		B	B	B	実施 																																												
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了																																												
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり一部実施中であることからB評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中期経営計画では、経常収支比率や職員給与費対医業収益比率等8つの経営指標に対し数値目標を設定し、中長期的な視点をもって経営の効率化・安定化を図っている。また、総務省にて毎年度実施している「地方財政状況調査」において、当院の決算分析や他自治体の決算状況を把握しながら、健全経営に努めている。平成28年度は、中期経営計画を改訂し、平成29年度から、新たに「医業収支比率」を加えた9つの経営指標と「常勤医師数」「紹介率」「逆紹介率」の3つの医療機能等指標に対し数値目標を設定し、経常収支の黒字化に取り組むこととしている。 ・ 平成28年度は、医療材料の購入価格や採用材料の適正化を図るため、全国他施設の購入価格等との比較や分析を行うことができる「ベンチマークシステム」を本格的に活用し、価格交渉力の強化と採用材料の適正化を図ることにより、診療材料費の削減に努めている。 ・ また、病院において収益性の高い部門である手術部門の収支状況を1術式ごとに掘り下げて、可視化や分析を行うことができる「手術部門原価管理システム」の導入に向け、準備作業や活用方法の検討などを行っている。平成29年度は、本システムを本格的に活用し、作業の効率化、採用材料の適正化、合理化、医療スタッフのコスト意識の向上等に向け、取り組むこととしている。 																																																
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 <small>※経常収益(事業収益-特別利益)/経常費用(総事業費用-特別損失)×100</small></td> <td>%</td> <td>99.3</td> <td>99.1</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率 <small>※医業収益/医業費用×100</small></td> <td>%</td> <td>93.6</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 <small>※年延べ入院患者数/病床延べ数×100</small></td> <td>%</td> <td>73.7</td> <td>79.2</td> </tr> <tr> <td>1日平均患者数(入院) <small>※年延べ入院患者数/年診療日数</small></td> <td>人</td> <td>140.0</td> <td>150.5</td> </tr> <tr> <td>1日平均患者数(外来) <small>※年延べ外来患者数/年診療日数</small></td> <td>人</td> <td>714.8</td> <td>690.5</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率 <small>※職員給与費/医業収益×100</small></td> <td>%</td> <td>47.4</td> <td>49.0</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率 <small>※材料費/医業収益×100</small></td> <td>%</td> <td>21.1</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>患者1人1日当たり診療収入(入院) <small>※入院収益/年延べ入院患者数×100</small></td> <td>円</td> <td>57,520</td> <td>54,821</td> </tr> <tr> <td>患者1人1日当たり診療収入(外来) <small>※外来収益/年延べ外来患者数×100</small></td> <td>円</td> <td>9,121</td> <td>9,249</td> </tr> <tr> <td>経営分析システムの検討数</td> <td>件</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「常勤医師数」「紹介率」「逆紹介率」の実績値については、取組事項の(1)地域医療連携の充実及び(15)医師・看護師など医療スタッフの確保の参考指標等欄を参照</p>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	経常収支比率 <small>※経常収益(事業収益-特別利益)/経常費用(総事業費用-特別損失)×100</small>	%	99.3	99.1	医業収支比率 <small>※医業収益/医業費用×100</small>	%	93.6	92.6	病床利用率 <small>※年延べ入院患者数/病床延べ数×100</small>	%	73.7	79.2	1日平均患者数(入院) <small>※年延べ入院患者数/年診療日数</small>	人	140.0	150.5	1日平均患者数(外来) <small>※年延べ外来患者数/年診療日数</small>	人	714.8	690.5	職員給与費対医業収益比率 <small>※職員給与費/医業収益×100</small>	%	47.4	49.0	材料費対医業収益比率 <small>※材料費/医業収益×100</small>	%	21.1	21.0	患者1人1日当たり診療収入(入院) <small>※入院収益/年延べ入院患者数×100</small>	円	57,520	54,821	患者1人1日当たり診療収入(外来) <small>※外来収益/年延べ外来患者数×100</small>	円	9,121	9,249	経営分析システムの検討数	件	2	1
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																														
経常収支比率 <small>※経常収益(事業収益-特別利益)/経常費用(総事業費用-特別損失)×100</small>	%	99.3	99.1																																														
医業収支比率 <small>※医業収益/医業費用×100</small>	%	93.6	92.6																																														
病床利用率 <small>※年延べ入院患者数/病床延べ数×100</small>	%	73.7	79.2																																														
1日平均患者数(入院) <small>※年延べ入院患者数/年診療日数</small>	人	140.0	150.5																																														
1日平均患者数(外来) <small>※年延べ外来患者数/年診療日数</small>	人	714.8	690.5																																														
職員給与費対医業収益比率 <small>※職員給与費/医業収益×100</small>	%	47.4	49.0																																														
材料費対医業収益比率 <small>※材料費/医業収益×100</small>	%	21.1	21.0																																														
患者1人1日当たり診療収入(入院) <small>※入院収益/年延べ入院患者数×100</small>	円	57,520	54,821																																														
患者1人1日当たり診療収入(外来) <small>※外来収益/年延べ外来患者数×100</small>	円	9,121	9,249																																														
経営分析システムの検討数	件	2	1																																														

④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(26) 医薬品・診療材料の購入・管理体制の強化																																																																																																																																																																																																			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 価格交渉の強化、発注方法の見直し、類似品の整理、ジェネリック医薬品の採用拡大などにより、薬品費、診療材料費の削減を推進するとともに、定数管理物品の対象拡大や管理体制の運用強化に努めます。 																																																																																																																																																																																																				
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																																															
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																																																																																																																																																																																
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の医薬品採用品目数は1,201品目、後発(ジェネリック)医薬品目数は269品目、採用医薬品に占める後発医薬品の割合は22.4%となっている。また、後発医薬品のある先発医薬品目数は457品目、後発医薬品のある先発医薬品の変更率は58.9%となっており、ジェネリック医薬品の採用拡大に努めている。 3か月毎に1度、診療材料の棚卸を実施して、薬や医療材料の使用実態を適正に把握し、余剰在庫の削減に努めている。 当院の適正な在庫管理を図るため、平成14年度から診療材料に係る定数管理業務(SPD)を委託し、各部門にて使用する物品を必要数に応じて定数管理することにより雑務の軽減や余剰在庫の削減に努めている。平成28年度の定数管理物品数は850品目となっている。 																																																																																																																																																																																																				
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医薬品採用品目数</td> <td>品目</td> <td>1,192</td> <td>1,201</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品目数</td> <td>品目</td> <td>253</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>採用医薬品に占める後発医薬品の割合 ※後発医薬品目数/医薬品採用品目数×100</td> <td>%</td> <td>21.2</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品のある先発医薬品の変更率 ※後発医薬品目数/後発医薬品のある先発医薬品目数×100</td> <td>%</td> <td>54.5</td> <td>58.9</td> </tr> <tr> <td>定数管理物品数(SPD対象物品数)</td> <td>品目</td> <td>815</td> <td>850</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	医薬品採用品目数	品目	1,192	1,201	後発医薬品目数	品目	253	269	採用医薬品に占める後発医薬品の割合 ※後発医薬品目数/医薬品採用品目数×100	%	21.2	22.4	後発医薬品のある先発医薬品の変更率 ※後発医薬品目数/後発医薬品のある先発医薬品目数×100	%	54.5	58.9	定数管理物品数(SPD対象物品数)	品目	815	850																																																																																																																																																																									
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																																																																																																																																																																	
医薬品採用品目数	品目	1,192	1,201																																																																																																																																																																																																		
後発医薬品目数	品目	253	269																																																																																																																																																																																																		
採用医薬品に占める後発医薬品の割合 ※後発医薬品目数/医薬品採用品目数×100	%	21.2	22.4																																																																																																																																																																																																		
後発医薬品のある先発医薬品の変更率 ※後発医薬品目数/後発医薬品のある先発医薬品目数×100	%	54.5	58.9																																																																																																																																																																																																		
定数管理物品数(SPD対象物品数)	品目	815	850																																																																																																																																																																																																		
<p style="text-align: center;">診療材料棚卸実績 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部署・部門</th> <th>H28.3月</th> <th>H28.6月</th> <th>H28.9月</th> <th>H28.12月</th> <th>H29.3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科・消化器科</td><td>22,044</td><td>3,992</td><td>17,404</td><td>14,020</td><td>12,700</td></tr> <tr><td>循環器科</td><td>804,531</td><td>773,020</td><td>1,049,760</td><td>1,923,380</td><td>1,260,140</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>31,640</td><td>36,440</td><td>15,640</td><td>16,040</td><td>41,240</td></tr> <tr><td>外科</td><td>42,720</td><td>24,870</td><td>48,180</td><td>26,340</td><td>25,270</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>244,278</td><td>243,338</td><td>271,954</td><td>232,054</td><td>258,410</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>4,520</td><td>4,520</td><td>2,600</td><td>4,520</td><td>4,520</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>143,376</td><td>123,198</td><td>151,836</td><td>141,636</td><td>125,038</td></tr> <tr><td>眼科</td><td>156,750</td><td>184,510</td><td>248,970</td><td>281,610</td><td>211,430</td></tr> <tr><td>耳鼻咽喉科</td><td>413,850</td><td>412,370</td><td>380,120</td><td>406,250</td><td>405,590</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>248,828</td><td>233,224</td><td>197,538</td><td>216,628</td><td>205,484</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>1,203,886</td><td>1,141,106</td><td>1,126,982</td><td>1,192,518</td><td>1,221,726</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>24,000</td><td>20,800</td><td>26,400</td><td>24,800</td><td>28,600</td></tr> <tr><td>手術室</td><td>4,853,640</td><td>4,543,410</td><td>4,920,000</td><td>5,020,340</td><td>5,086,950</td></tr> <tr><td>救急外来</td><td>460,536</td><td>388,842</td><td>445,849</td><td>554,321</td><td>379,471</td></tr> <tr><td>内視鏡室</td><td>3,443,455</td><td>3,357,835</td><td>3,355,635</td><td>3,160,625</td><td>3,621,030</td></tr> <tr><td>中央処置室</td><td>48,648</td><td>43,848</td><td>76,350</td><td>83,496</td><td>111,098</td></tr> <tr><td>健診センター</td><td>800</td><td>800</td><td>1,600</td><td>800</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>4,500</td><td>1,000</td><td>500</td><td>2,000</td><td>3,500</td></tr> <tr><td>臨床検査科</td><td>1,100,438</td><td>1,000,714</td><td>1,027,891</td><td>1,171,216</td><td>965,274</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>237,775</td><td>262,345</td><td>239,355</td><td>220,980</td><td>206,160</td></tr> <tr><td>透視室</td><td>121,540</td><td>390,660</td><td>123,680</td><td>117,080</td><td>135,280</td></tr> <tr><td>高圧酸素治療室</td><td>5,000</td><td>5,000</td><td>5,000</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>薬剤科</td><td>1,151,584</td><td>968,016</td><td>1,105,257</td><td>824,398</td><td>818,970</td></tr> <tr><td>3階東病棟</td><td>975,231</td><td>956,233</td><td>761,430</td><td>891,690</td><td>777,880</td></tr> <tr><td>3階西病棟</td><td>437,741</td><td>415,476</td><td>396,644</td><td>438,182</td><td>453,851</td></tr> <tr><td>4階東病棟</td><td>955,194</td><td>956,478</td><td>1,050,570</td><td>1,199,074</td><td>1,129,592</td></tr> <tr><td>4階西病棟</td><td>648,770</td><td>656,930</td><td>683,380</td><td>614,700</td><td>623,070</td></tr> <tr><td>医療安全管理課</td><td>2,100</td><td>3,850</td><td>2,450</td><td>700</td><td>2,100</td></tr> <tr><td>感染対策課</td><td>1,740,702</td><td>1,539,124</td><td>1,478,278</td><td>1,440,574</td><td>1,245,870</td></tr> <tr><td>財政係</td><td>82,420</td><td>81,720</td><td>81,390</td><td>88,050</td><td>88,050</td></tr> <tr><td>合計</td><td>19,610,497</td><td>18,773,669</td><td>19,292,643</td><td>20,308,022</td><td>19,449,894</td></tr> </tbody> </table>						部署・部門	H28.3月	H28.6月	H28.9月	H28.12月	H29.3月	内科・消化器科	22,044	3,992	17,404	14,020	12,700	循環器科	804,531	773,020	1,049,760	1,923,380	1,260,140	小児科	31,640	36,440	15,640	16,040	41,240	外科	42,720	24,870	48,180	26,340	25,270	整形外科	244,278	243,338	271,954	232,054	258,410	脳神経外科	4,520	4,520	2,600	4,520	4,520	産婦人科	143,376	123,198	151,836	141,636	125,038	眼科	156,750	184,510	248,970	281,610	211,430	耳鼻咽喉科	413,850	412,370	380,120	406,250	405,590	皮膚科	248,828	233,224	197,538	216,628	205,484	泌尿器科	1,203,886	1,141,106	1,126,982	1,192,518	1,221,726	麻酔科	24,000	20,800	26,400	24,800	28,600	手術室	4,853,640	4,543,410	4,920,000	5,020,340	5,086,950	救急外来	460,536	388,842	445,849	554,321	379,471	内視鏡室	3,443,455	3,357,835	3,355,635	3,160,625	3,621,030	中央処置室	48,648	43,848	76,350	83,496	111,098	健診センター	800	800	1,600	800	1,600	放射線科	4,500	1,000	500	2,000	3,500	臨床検査科	1,100,438	1,000,714	1,027,891	1,171,216	965,274	リハビリテーション科	237,775	262,345	239,355	220,980	206,160	透視室	121,540	390,660	123,680	117,080	135,280	高圧酸素治療室	5,000	5,000	5,000	0	0	薬剤科	1,151,584	968,016	1,105,257	824,398	818,970	3階東病棟	975,231	956,233	761,430	891,690	777,880	3階西病棟	437,741	415,476	396,644	438,182	453,851	4階東病棟	955,194	956,478	1,050,570	1,199,074	1,129,592	4階西病棟	648,770	656,930	683,380	614,700	623,070	医療安全管理課	2,100	3,850	2,450	700	2,100	感染対策課	1,740,702	1,539,124	1,478,278	1,440,574	1,245,870	財政係	82,420	81,720	81,390	88,050	88,050	合計	19,610,497	18,773,669	19,292,643	20,308,022	19,449,894
部署・部門	H28.3月	H28.6月	H28.9月	H28.12月	H29.3月																																																																																																																																																																																																
内科・消化器科	22,044	3,992	17,404	14,020	12,700																																																																																																																																																																																																
循環器科	804,531	773,020	1,049,760	1,923,380	1,260,140																																																																																																																																																																																																
小児科	31,640	36,440	15,640	16,040	41,240																																																																																																																																																																																																
外科	42,720	24,870	48,180	26,340	25,270																																																																																																																																																																																																
整形外科	244,278	243,338	271,954	232,054	258,410																																																																																																																																																																																																
脳神経外科	4,520	4,520	2,600	4,520	4,520																																																																																																																																																																																																
産婦人科	143,376	123,198	151,836	141,636	125,038																																																																																																																																																																																																
眼科	156,750	184,510	248,970	281,610	211,430																																																																																																																																																																																																
耳鼻咽喉科	413,850	412,370	380,120	406,250	405,590																																																																																																																																																																																																
皮膚科	248,828	233,224	197,538	216,628	205,484																																																																																																																																																																																																
泌尿器科	1,203,886	1,141,106	1,126,982	1,192,518	1,221,726																																																																																																																																																																																																
麻酔科	24,000	20,800	26,400	24,800	28,600																																																																																																																																																																																																
手術室	4,853,640	4,543,410	4,920,000	5,020,340	5,086,950																																																																																																																																																																																																
救急外来	460,536	388,842	445,849	554,321	379,471																																																																																																																																																																																																
内視鏡室	3,443,455	3,357,835	3,355,635	3,160,625	3,621,030																																																																																																																																																																																																
中央処置室	48,648	43,848	76,350	83,496	111,098																																																																																																																																																																																																
健診センター	800	800	1,600	800	1,600																																																																																																																																																																																																
放射線科	4,500	1,000	500	2,000	3,500																																																																																																																																																																																																
臨床検査科	1,100,438	1,000,714	1,027,891	1,171,216	965,274																																																																																																																																																																																																
リハビリテーション科	237,775	262,345	239,355	220,980	206,160																																																																																																																																																																																																
透視室	121,540	390,660	123,680	117,080	135,280																																																																																																																																																																																																
高圧酸素治療室	5,000	5,000	5,000	0	0																																																																																																																																																																																																
薬剤科	1,151,584	968,016	1,105,257	824,398	818,970																																																																																																																																																																																																
3階東病棟	975,231	956,233	761,430	891,690	777,880																																																																																																																																																																																																
3階西病棟	437,741	415,476	396,644	438,182	453,851																																																																																																																																																																																																
4階東病棟	955,194	956,478	1,050,570	1,199,074	1,129,592																																																																																																																																																																																																
4階西病棟	648,770	656,930	683,380	614,700	623,070																																																																																																																																																																																																
医療安全管理課	2,100	3,850	2,450	700	2,100																																																																																																																																																																																																
感染対策課	1,740,702	1,539,124	1,478,278	1,440,574	1,245,870																																																																																																																																																																																																
財政係	82,420	81,720	81,390	88,050	88,050																																																																																																																																																																																																
合計	19,610,497	18,773,669	19,292,643	20,308,022	19,449,894																																																																																																																																																																																																

④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(27) TQM活動の推進																																																																			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員によるTQM活動(業務の質の改善と向上を目指して行う自主的な調査研究活動)を推進し、職員のコスト意識の醸成や取組成果の共有化を進め、業務の改善につなげます。 																																																																				
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																															
		A	A	A																																																																	
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了																																																																
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年度までは看護部独自の活動であったが、平成21年度からTQM推進チームを設置し、現在はコメディカルや事務局を加え講習会や発表会などを継続して行っている。平成28年度のTQMエントリーは16部署14チームあり、平成29年2月に開催された発表会にて、1年間の活動の成果を発表している。 																																																																				
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TQMエントリーチーム数</td> <td>チーム</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>TQMエントリー部署数</td> <td>部署</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>TQMニュース発行数</td> <td>刊</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	H27実績値	H28実績値	TQMエントリーチーム数	チーム	15	14	TQMエントリー部署数	部署	16	16	TQMニュース発行数	刊	6	6																																																	
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																																	
	TQMエントリーチーム数	チーム	15	14																																																																	
	TQMエントリー部署数	部署	16	16																																																																	
TQMニュース発行数	刊	6	6																																																																		
<p align="center">第10回 TQM 活動発表会プログラム</p> <p>【日時/場所】平成29年2月10日(金)17:30~20:30 / 市立千歳市民病院 講義室1~3 【審査員】伊藤院長、川向副院長、佐藤副院長、佐々木事務局長 【特別審査員】横田副市長、立川講師(TQM活動講師)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>部署名(コラボ部署)</th> <th>チーム名</th> <th>取り組むテーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>17:45~17:52 3階東病棟看護科</td> <td>とにかく明るい3東</td> <td>安心してくださいお待たせしませんよ ~5Sを徹底させてスムーズに患者の元へ行こう~</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>17:53~18:00 リハビリテーション科 (MSW, 他院リハビリスタッフ)</td> <td>KSK 隊 (改善してスムーズに引き継げる活書を 書き隊)</td> <td>つなげるリハビリへ ~リハビリ活書を改善してスムーズな引継ぎを目指そう~</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>18:01~18:08 高血圧科 (大沼医師, 大久保医師, 3西, ぼくやん)</td> <td>H-K-T 早く帰してあげ隊</td> <td>K-S-K 薬スタバイ完了! みんな WISH! ~患者様をお待たせしないための 退院時の薬を早く準備しよう~</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>18:09~18:16 4階西病棟看護科 (園口 Na, 花王)</td> <td>ジャパネット ~オムツでお困りのあなたに~</td> <td>Perfect OMUTSU ~適切なおむつで、尿漏れ撃退しよう~</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>18:17~18:24 放射線科 (内藤医師, 中本医師, 小児科外来)</td> <td>技師の極み乙女</td> <td>子どもの笑顔は世界を救う! ~子どもが安心してレントゲンを撮れる環境を考えよう~</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>18:25~18:32 手術室看護科 (検査科本間技師)</td> <td>ダンディ・デコボコ</td> <td>輸血ツツ! ~緊急輸血の対応ができるようにしよう~</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>18:33~18:40 救急外来看護科 (地域連携室, 社会福祉協議会, 消防)</td> <td>救急カードで伝え隊</td> <td>救急カードに市民権を ~地域全体で緊急時の情報を正確に伝えよう~</td> </tr> </tbody> </table> <p>・前半を終えて、立川講師より講評</p> <p>・ゲストチーム 京都西陣病院本館 4階病棟「転倒防止 高きる子ちゃん」チームによる特別発表! マツコの知らない!転倒転落の世界 ~他職種との連携・情報共有し、患者の転倒リスクを評価し、転倒転落のリスクを減らそう~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>部署名</th> <th>チーム名</th> <th>取り組むテーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>19:00~19:07 3階西病棟看護科 (大沼医師, 渡辺医師, MSW)</td> <td>お助け三姉妹</td> <td>MY SWEET HOME ~安心して家に帰ってもらおう!!~</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>19:08~19:15 栄養管理科 (渡邊医師, 打越 Na, 北星病院)</td> <td>三太郎</td> <td>つながる eiyou! ~転院時の情報共有体制を整えよう~</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>19:16~19:23 臨床工学科</td> <td>チーム AED</td> <td>「備える AED」から「使える AED」へ Part2 ~安全で安心な AED の普及を図ろう~</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>19:24~19:31 4階東病棟看護科</td> <td>三代目 J soul Sisters</td> <td>Share THE 術前準備 ~術前準備を統一し、時間を有効利用しよう~</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>19:32~19:39 医事課 (病棟看護科・7F3F入院課承擔)</td> <td>IJI WITH A MISSION</td> <td>個室へ GO!! ~個室料金の適切な請求のために~</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>19:40~19:47 第1外来・第2外来 (池田医師, 小岩医師, 竹内医師, 鹿中医師, 新藤医師)</td> <td>粒ぞろい</td> <td>つながるツムツム ~チーム連携で透析計画導入を進めよう~</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>19:48~19:55 臨床検査科 (中央検査室スタッフ)</td> <td>パナマ文書</td> <td>理解しやすい検査 ~患者に自分自身の検査内容を知ってもらう~</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全チームの発表を終えて、立川講師より講評</p> <p>・表彰式</p>						No	部署名(コラボ部署)	チーム名	取り組むテーマ	1	17:45~17:52 3階東病棟看護科	とにかく明るい3東	安心してくださいお待たせしませんよ ~5Sを徹底させてスムーズに患者の元へ行こう~	2	17:53~18:00 リハビリテーション科 (MSW, 他院リハビリスタッフ)	KSK 隊 (改善してスムーズに引き継げる活書を 書き隊)	つなげるリハビリへ ~リハビリ活書を改善してスムーズな引継ぎを目指そう~	3	18:01~18:08 高血圧科 (大沼医師, 大久保医師, 3西, ぼくやん)	H-K-T 早く帰してあげ隊	K-S-K 薬スタバイ完了! みんな WISH! ~患者様をお待たせしないための 退院時の薬を早く準備しよう~	4	18:09~18:16 4階西病棟看護科 (園口 Na, 花王)	ジャパネット ~オムツでお困りのあなたに~	Perfect OMUTSU ~適切なおむつで、尿漏れ撃退しよう~	5	18:17~18:24 放射線科 (内藤医師, 中本医師, 小児科外来)	技師の極み乙女	子どもの笑顔は世界を救う! ~子どもが安心してレントゲンを撮れる環境を考えよう~	6	18:25~18:32 手術室看護科 (検査科本間技師)	ダンディ・デコボコ	輸血ツツ! ~緊急輸血の対応ができるようにしよう~	7	18:33~18:40 救急外来看護科 (地域連携室, 社会福祉協議会, 消防)	救急カードで伝え隊	救急カードに市民権を ~地域全体で緊急時の情報を正確に伝えよう~	No	部署名	チーム名	取り組むテーマ	8	19:00~19:07 3階西病棟看護科 (大沼医師, 渡辺医師, MSW)	お助け三姉妹	MY SWEET HOME ~安心して家に帰ってもらおう!!~	9	19:08~19:15 栄養管理科 (渡邊医師, 打越 Na, 北星病院)	三太郎	つながる eiyou! ~転院時の情報共有体制を整えよう~	10	19:16~19:23 臨床工学科	チーム AED	「備える AED」から「使える AED」へ Part2 ~安全で安心な AED の普及を図ろう~	11	19:24~19:31 4階東病棟看護科	三代目 J soul Sisters	Share THE 術前準備 ~術前準備を統一し、時間を有効利用しよう~	12	19:32~19:39 医事課 (病棟看護科・7F3F入院課承擔)	IJI WITH A MISSION	個室へ GO!! ~個室料金の適切な請求のために~	13	19:40~19:47 第1外来・第2外来 (池田医師, 小岩医師, 竹内医師, 鹿中医師, 新藤医師)	粒ぞろい	つながるツムツム ~チーム連携で透析計画導入を進めよう~	14	19:48~19:55 臨床検査科 (中央検査室スタッフ)	パナマ文書	理解しやすい検査 ~患者に自分自身の検査内容を知ってもらう~
No	部署名(コラボ部署)	チーム名	取り組むテーマ																																																																		
1	17:45~17:52 3階東病棟看護科	とにかく明るい3東	安心してくださいお待たせしませんよ ~5Sを徹底させてスムーズに患者の元へ行こう~																																																																		
2	17:53~18:00 リハビリテーション科 (MSW, 他院リハビリスタッフ)	KSK 隊 (改善してスムーズに引き継げる活書を 書き隊)	つなげるリハビリへ ~リハビリ活書を改善してスムーズな引継ぎを目指そう~																																																																		
3	18:01~18:08 高血圧科 (大沼医師, 大久保医師, 3西, ぼくやん)	H-K-T 早く帰してあげ隊	K-S-K 薬スタバイ完了! みんな WISH! ~患者様をお待たせしないための 退院時の薬を早く準備しよう~																																																																		
4	18:09~18:16 4階西病棟看護科 (園口 Na, 花王)	ジャパネット ~オムツでお困りのあなたに~	Perfect OMUTSU ~適切なおむつで、尿漏れ撃退しよう~																																																																		
5	18:17~18:24 放射線科 (内藤医師, 中本医師, 小児科外来)	技師の極み乙女	子どもの笑顔は世界を救う! ~子どもが安心してレントゲンを撮れる環境を考えよう~																																																																		
6	18:25~18:32 手術室看護科 (検査科本間技師)	ダンディ・デコボコ	輸血ツツ! ~緊急輸血の対応ができるようにしよう~																																																																		
7	18:33~18:40 救急外来看護科 (地域連携室, 社会福祉協議会, 消防)	救急カードで伝え隊	救急カードに市民権を ~地域全体で緊急時の情報を正確に伝えよう~																																																																		
No	部署名	チーム名	取り組むテーマ																																																																		
8	19:00~19:07 3階西病棟看護科 (大沼医師, 渡辺医師, MSW)	お助け三姉妹	MY SWEET HOME ~安心して家に帰ってもらおう!!~																																																																		
9	19:08~19:15 栄養管理科 (渡邊医師, 打越 Na, 北星病院)	三太郎	つながる eiyou! ~転院時の情報共有体制を整えよう~																																																																		
10	19:16~19:23 臨床工学科	チーム AED	「備える AED」から「使える AED」へ Part2 ~安全で安心な AED の普及を図ろう~																																																																		
11	19:24~19:31 4階東病棟看護科	三代目 J soul Sisters	Share THE 術前準備 ~術前準備を統一し、時間を有効利用しよう~																																																																		
12	19:32~19:39 医事課 (病棟看護科・7F3F入院課承擔)	IJI WITH A MISSION	個室へ GO!! ~個室料金の適切な請求のために~																																																																		
13	19:40~19:47 第1外来・第2外来 (池田医師, 小岩医師, 竹内医師, 鹿中医師, 新藤医師)	粒ぞろい	つながるツムツム ~チーム連携で透析計画導入を進めよう~																																																																		
14	19:48~19:55 臨床検査科 (中央検査室スタッフ)	パナマ文書	理解しやすい検査 ~患者に自分自身の検査内容を知ってもらう~																																																																		
<p align="center">第10回TQM活動発表会</p> <p align="center">TQM研修会</p>																																																																					


④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(28) 省エネルギー対策の推進					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> CO2削減を図る環境配慮行動の推進に努めるとともに、照明設備のLED化などの省エネルギー対策にも取り組み、エネルギー使用量の抑制を図ります。 						
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30	
		A	A	A			
評価項目	A) 実施中		B) 一部実施中		C) 未実施	完) 完了・終了	
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内の直管蛍光灯総本数は3,214本あり、平成24年度から計画的にLED化に取り組んでおり、平成28年度の直管LED取替数は300本、LED化率は単年度で9.3%、累計で42.8%となっている。 施設内の節電システム導入対象のWHPエアコン総数は18台あり、平成25年度から計画的に節電システム導入に取り組んでおり、平成28年度の導入台数は6台、導入率は単年度で33.3%、累計で100%となっている。 平成26年度から電気料金値上げへの対応として、新電力を入札等により調達する方法を導入し、経費節減を図っており、平成28年度も継続している。 						
参考指標等	指標名		単位	H27実績値	H28実績値		
	直管蛍光灯のLED化率 <small>※直管LED(本)÷施設内直管蛍光灯(本)×100</small>		%	3.8	9.3		
	施設のライフライン使用量						
	上下水道	区分		合計			
		H28	H	使用量	29,245		
			金額	8,143,981			
		H27	H	使用量	26,730		
			金額	7,434,909			
		増	使用量	2,515			
	金額		709,072			(9%)	
井戸水	区分		合計				
	H28	H	使用量	12,137			
		金額	1,530,421				
	H27	H	使用量	12,954			
		金額	1,636,784				
	増	使用量	▲ 817			(▲6%)	
金額		▲ 106,363			(▲6%)		
都市ガス	区分		合計				
	H28	H	使用量	441,732			
		金額	31,756,793				
	H27	H	使用量	426,436			
		金額	39,771,451				
	増	使用量	15,296			(4%)	
金額		▲ 8,014,658			(▲20%)		
電	区分		合計				
	H28	H	使用量	3,358,486			
		金額	65,497,887				
	H27	H	使用量	3,382,176			
		金額	70,675,882				
	増	使用量	▲ 23,690			(▲0.7%)	
金額		▲ 5,177,995			(▲7%)		
LPG	区分		合計				
	H28	H	使用量	2,189			
		金額	668,917				
	H27	H	使用量	2,220			
		金額	815,034				
	増	使用量	▲ 31			(▲1.4%)	
金額		▲ 146,117			(▲18%)		





④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(29) 内部管理経費の節減																																											
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 契約方法や業務委託内容の見直しをはじめ、内部管理経費の効率化・合理化を進め、経費の節減に向けた取組を推進します。 定期的に病院の経営状況を職員に開示して経費節減の意識を高め、病院全体でコスト削減に取り組みます。 																																												
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																							
		A	A	A																																									
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																								
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託の見直しについては、毎年度の予算編成時において、既存の委託業務内容を検証し、適正な予算要求を行うとともに、警備委託と清掃業務委託の施設維持管理業務については複数年契約を導入し、コスト削減と事務の効率化を図っている。 平成28年度は、複数年契約による施設整備保守業務に係る総合管理委託方式の導入等、業務委託について検討を行うため、委託業務の受注業者を対象にアンケート調査を行い、統合が可能と判断された業務については、平成29年度から業務委託契約の見直しを図っている。 毎月開催している運営会議において、先月の診療収入速報、患者数などの経営状況報告や光熱水費等の使用量などの定期報告のほか、平成28年度は地域包括ケア病床の仮運用実績等本格運用に向けた取組や地域連携ネットワークシステム導入に係る進捗状況等を報告し、院内全体で情報共有を図るとともに職員のコスト意識の向上に努めている。 																																												
参考指標等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営会議開催数</td> <td>回</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>☆運営会議における報告内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr><td>1</td><td>病床利用率グラフ</td></tr> <tr><td>2</td><td>月別病床利用率グラフ</td></tr> <tr><td>3</td><td>入院患者数調べ(当月)</td></tr> <tr><td>4</td><td>月別平均在院日数調べ</td></tr> <tr><td>5</td><td>外来患者数調べ(当月)</td></tr> <tr><td>6</td><td>1日平均入院患者数及び病床利用率(月別・診療科別)</td></tr> <tr><td>7</td><td>当年度診療収入概況(当月速報値)</td></tr> <tr><td>8</td><td>患者1人1日当たりの診療収入(入院・外来)</td></tr> <tr><td>9</td><td>病院事業収支状況(前月)</td></tr> <tr><td>10</td><td>ライフライン使用量</td></tr> <tr><td>11</td><td>栄養指導件数</td></tr> <tr><td>12</td><td>救急外来患者数及び収入(当月)</td></tr> <tr><td>13</td><td>薬剤管理指導及び無菌製剤処理加算件数</td></tr> <tr><td>14</td><td>各種リハビリテーション料実施数</td></tr> <tr><td>15</td><td>疾病医療費統計(当月)</td></tr> <tr><td>16</td><td>地域医療連携室統計(当月)</td></tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	運営会議開催数	回	12	12	1	病床利用率グラフ	2	月別病床利用率グラフ	3	入院患者数調べ(当月)	4	月別平均在院日数調べ	5	外来患者数調べ(当月)	6	1日平均入院患者数及び病床利用率(月別・診療科別)	7	当年度診療収入概況(当月速報値)	8	患者1人1日当たりの診療収入(入院・外来)	9	病院事業収支状況(前月)	10	ライフライン使用量	11	栄養指導件数	12	救急外来患者数及び収入(当月)	13	薬剤管理指導及び無菌製剤処理加算件数	14	各種リハビリテーション料実施数	15	疾病医療費統計(当月)	16	地域医療連携室統計(当月)
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																										
運営会議開催数	回	12	12																																										
1	病床利用率グラフ																																												
2	月別病床利用率グラフ																																												
3	入院患者数調べ(当月)																																												
4	月別平均在院日数調べ																																												
5	外来患者数調べ(当月)																																												
6	1日平均入院患者数及び病床利用率(月別・診療科別)																																												
7	当年度診療収入概況(当月速報値)																																												
8	患者1人1日当たりの診療収入(入院・外来)																																												
9	病院事業収支状況(前月)																																												
10	ライフライン使用量																																												
11	栄養指導件数																																												
12	救急外来患者数及び収入(当月)																																												
13	薬剤管理指導及び無菌製剤処理加算件数																																												
14	各種リハビリテーション料実施数																																												
15	疾病医療費統計(当月)																																												
16	地域医療連携室統計(当月)																																												



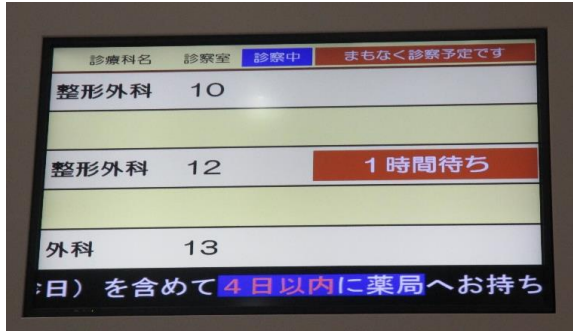
④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(30) 医療機器の計画的な導入																																										
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器の購入経費とその収益性を考慮しながら、財源等についての検討も行き、整備事業費の縮減に取り組むとともに、計画的な導入を図り、高度医療の充実に努めます。 																																											
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																						
		A	A	A																																								
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																																							
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療技術の進歩や医療ニーズの高度化・多様化に対応するため、高度医療機器を計画的に整備する必要があるが、医療機器購入の選定に当たっては、緊急性や収益性などを考慮して優先順位付けを行い、計画的な導入を図り、高度医療の充実に努めている。平成28年度は医療情報システム、地域連携ネットワークシステム、デジタルX線画像診断システム等を購入している。 平成28年度における建設改良費の実績値は219,706千円となり、中期経営計画値249,072千円を下回ったことから、中期経営計画に対する建設改良費の超過率は0%となっている。 																																											
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設改良費</td> <td>千円</td> <td>192,067</td> <td>219,706</td> </tr> <tr> <td>建設改良費の中期経営計画値に対する超過率 <small>※建設改良費-建設改良費(中期経営計画値)/建設改良費(中期経営計画値) × 100</small></td> <td>%</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		指標名	単位	H27実績値	H28実績値	建設改良費	千円	192,067	219,706	建設改良費の中期経営計画値に対する超過率 <small>※建設改良費-建設改良費(中期経営計画値)/建設改良費(中期経営計画値) × 100</small>	%	0	0	<p>平成28年度 購入金額500万円以上の医療機器等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資産名称</th> <th>数量</th> <th>購入金額(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 全身麻酔装置</td> <td>1 式</td> <td>5,292,000 円</td> </tr> <tr> <td>2 電子内視鏡システム</td> <td>1 式</td> <td>6,210,000 円</td> </tr> <tr> <td>3 マルチカラーレーザー光凝固装置(追加機能)</td> <td>1 式</td> <td>5,289,840 円</td> </tr> <tr> <td>4 産婦人科用超音波診断装置</td> <td>1 台</td> <td>5,940,000 円</td> </tr> <tr> <td>5 全自動輸血検査装置</td> <td>1 台</td> <td>5,940,000 円</td> </tr> <tr> <td>6 医療情報システム</td> <td>1 式</td> <td>41,580,000 円</td> </tr> <tr> <td>7 地域連携ネットワークシステム</td> <td>1 式</td> <td>46,440,000 円</td> </tr> <tr> <td>8 デジタルX線画像診断システム</td> <td>1 式</td> <td>25,920,000 円</td> </tr> </tbody> </table>			資産名称	数量	購入金額(税込)	1 全身麻酔装置	1 式	5,292,000 円	2 電子内視鏡システム	1 式	6,210,000 円	3 マルチカラーレーザー光凝固装置(追加機能)	1 式	5,289,840 円	4 産婦人科用超音波診断装置	1 台	5,940,000 円	5 全自動輸血検査装置	1 台	5,940,000 円	6 医療情報システム	1 式	41,580,000 円	7 地域連携ネットワークシステム	1 式	46,440,000 円	8 デジタルX線画像診断システム	1 式	25,920,000 円
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																								
	建設改良費	千円	192,067	219,706																																								
	建設改良費の中期経営計画値に対する超過率 <small>※建設改良費-建設改良費(中期経営計画値)/建設改良費(中期経営計画値) × 100</small>	%	0	0																																								
	資産名称	数量	購入金額(税込)																																									
	1 全身麻酔装置	1 式	5,292,000 円																																									
	2 電子内視鏡システム	1 式	6,210,000 円																																									
	3 マルチカラーレーザー光凝固装置(追加機能)	1 式	5,289,840 円																																									
	4 産婦人科用超音波診断装置	1 台	5,940,000 円																																									
	5 全自動輸血検査装置	1 台	5,940,000 円																																									
6 医療情報システム	1 式	41,580,000 円																																										
7 地域連携ネットワークシステム	1 式	46,440,000 円																																										
8 デジタルX線画像診断システム	1 式	25,920,000 円																																										
		<p>電子内視鏡システム(右)</p> 																																										
		<p>デジタルX線画像診断システム</p> 																																										
		<p>全身麻酔装置</p> 																																										


④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(31) 医療情報システムの更新											
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療情報システム(電子カルテなど)の更新やタブレット端末の導入などを計画的に進め、業務効率の維持、向上を図ります。 												
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30							
		A	A	A									
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了								
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内各部門間における情報の共有化や業務の効率化、患者へのサービス向上、医療の安全性向上等を図るため、平成21年度から電子カルテを導入している。 平成28年度は、地域連携ネットワークシステムを購入したほか、診療案内システムや診察券発行機等を更新している。 												
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療情報システム更新等検討会開催数</td> <td>回</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	医療情報システム更新等検討会開催数	回	10	12
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値									
	医療情報システム更新等検討会開催数	回	10	12									
<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="5">H28年度更新内容</td> <td>地域連携ネットワークシステム購入</td> </tr> <tr> <td>診療案内システム更新</td> </tr> <tr> <td>リストバンドプリンタ追加購入</td> </tr> <tr> <td>ラベルプリンタ更新</td> </tr> <tr> <td>診察券発行機更新</td> </tr> <tr> <td>PDA更新</td> </tr> </tbody> </table>					H28年度更新内容	地域連携ネットワークシステム購入	診療案内システム更新	リストバンドプリンタ追加購入	ラベルプリンタ更新	診察券発行機更新	PDA更新		
H28年度更新内容	地域連携ネットワークシステム購入												
	診療案内システム更新												
	リストバンドプリンタ追加購入												
	ラベルプリンタ更新												
	診察券発行機更新												
PDA更新													
<p>診療案内システム(表示例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>													


④ 効率的な病院運営の推進

経営の改善・強化に向けた取組により、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取組事項		(32) 施設・設備の計画的な修繕																																																					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> コストや耐用年数等を考慮した修繕計画を策定し、年度負担の平準化や軽減に努め、適正かつ計画的な修繕を実施します。 																																																						
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																	
		A	A	A																																																			
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了																																																		
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民病院は平成14年3月の竣工から15年を経過し、機器の部品交換等の補修が年々増加しており、今後も経年劣化に伴い更なる増加が見込まれることから、毎年度修繕計画の見直しを行っている。 修繕は、老朽化対策の「維持保全」を基本とし、経年劣化により性能などが低下した建築物・部品等について、建設当時の水準まで改善を図っているほか、ライフラインの低減などを目的とした省エネ対策修繕や機能向上などの修繕も毎年度修繕内容等を検討し実施している。 																																																						
参考指標等	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度別修繕額</td> <td>千円</td> <td>112,319</td> <td>79,965</td> </tr> </tbody> </table> <p>修繕実績及び計画 単位:千円</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="3">実績額</th> <th>予算額</th> <th colspan="2">計画額</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設経過年数</td> <td>13年</td> <td>14年</td> <td>15年</td> <td>16年</td> <td>17年</td> <td>18年</td> </tr> <tr> <td>大規模修繕</td> <td>50,933</td> <td>84,603</td> <td>54,816</td> <td>105,963</td> <td>89,100</td> <td>94,600</td> </tr> <tr> <td>一般修繕</td> <td>26,718</td> <td>27,716</td> <td>25,149</td> <td>22,572</td> <td>71,001</td> <td>83,476</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>77,650</td> <td>112,319</td> <td>79,965</td> <td>128,535</td> <td>160,101</td> <td>178,076</td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	H27実績値	H28実績値	年度別修繕額	千円	112,319	79,965	年 度	実績額			予算額	計画額		H26	H27	H28	H29	H30	H31	建設経過年数	13年	14年	15年	16年	17年	18年	大規模修繕	50,933	84,603	54,816	105,963	89,100	94,600	一般修繕	26,718	27,716	25,149	22,572	71,001	83,476	合 計	77,650	112,319	79,965	128,535	160,101	178,076
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																																																				
年度別修繕額	千円	112,319	79,965																																																				
年 度	実績額			予算額	計画額																																																		
	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																																	
建設経過年数	13年	14年	15年	16年	17年	18年																																																	
大規模修繕	50,933	84,603	54,816	105,963	89,100	94,600																																																	
一般修繕	26,718	27,716	25,149	22,572	71,001	83,476																																																	
合 計	77,650	112,319	79,965	128,535	160,101	178,076																																																	

⑤ 医療従事者の勤務環境等の充実

医療従事者の勤務環境等の充実に努め、医療提供体制の確保を図ります。

取組事項		(33) 職員満足度の向上																			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員の職務、職場に対する意識の定期的な把握により、その改善に向けた取組を進め、職員がやりがいを持って働ける職場環境を形成します。 																				
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30															
		A	A	A																	
	評価項目	A) 実施中	B) 一部実施中	C) 未実施	完) 完了・終了																
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の職務や職場に対する意識やニーズを把握し、より働きやすくやりがいのある職場づくりの参考とするため、院内の全職員に対し、平成24年度から3年毎に職員意識調査を行うこととし、平成27年度は実施年として、職場での雰囲気や人間関係、労働条件など40項目について調査を行い、評価・分析結果を対象者全員に公表している。今後も継続して実施することにより、職員がやりがいを持って働ける職場環境形成に努めている。 平成24年度から、道内の自治体病院に先駆けて、行動評価と業績評価による医師人事評価制度を本格導入し、医師のモチベーションと経営参画意識を高めるとともに、個々の資質や意欲を最大限に引き出し、より安全で質の高い医療の提供を図っている。また、平成28年度から、医師以外の医療職においても、人事評価制度を本格導入している。 																				
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員意識調査実施回数 (3年毎に1回)</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>医師人事評価制度実施状況</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>医師以外の医療職人事評価制度実施状況</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>-</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	職員意識調査実施回数 (3年毎に1回)	回	1	-	医師人事評価制度実施状況	/	実施	実施	医師以外の医療職人事評価制度実施状況	/	-	実施
指標名	単位	H27実績値	H28実績値																		
職員意識調査実施回数 (3年毎に1回)	回	1	-																		
医師人事評価制度実施状況	/	実施	実施																		
医師以外の医療職人事評価制度実施状況	/	-	実施																		

⑤ 医療従事者の勤務環境等の充実

医療従事者の勤務環境等の充実に努め、医療提供体制の確保を図ります。

取組事項		(34)勤務環境の改善											
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇取得率の向上や時間外勤務の縮減に取り組むとともに、短時間勤務制度の定着化など、子育て支援の充実に努めます。 												
総括評価	評価年度	H26	H27	H28	H29	H30							
		A	A	A									
	評価項目	A)実施中	B)一部実施中	C)未実施	完)完了・終了								
点検・評価内容	<p>取組内容について、下記のとおり既に実施中であることからA評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の勤務環境の改善は、平成28年度の病院運営方針の重点施策に位置付けられ、職員の有給休暇取得率の向上と時間外勤務の縮減に積極的に取り組んでいる。また、院内の全職員に対し、平成24年度から3年毎に行っている職員意識調査の中で、休暇や残業に関する項目を設け、評価・分析を行いながら、院内全体で勤務環境の改善を意識づけしている。 当院では、当院に勤務する医師や看護師などが安心して働けるよう、0歳から小学校就学前までの乳幼児を対象とした院内保育所を開設している。また平成20年4月から夜間保育と土曜保育を開設し、子育て支援の充実に努めている。 												
参考指標等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>H27実績値</th> <th>H28実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内保育人数(4月1日付)</td> <td>人</td> <td>20</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	H27実績値	H28実績値	院内保育人数(4月1日付)	人	20	32
	指標名	単位	H27実績値	H28実績値									
院内保育人数(4月1日付)	人	20	32										
	<p>○市立千歳市民病院院内保育所</p>  <p>○院内保育所の活動の様子</p> 												

資料6 市立千歳市民病院経営懇話会設置要綱

(設置)

第1条 市立千歳市民病院（以下「市民病院」という。）が地域の基幹病院として良質な医療水準の維持・向上を図り、健全な病院運営を推進するため、市立千歳市民病院経営懇話会（以下「懇話会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 懇話会は、次に掲げる事項について所掌する。

- (1) 市立千歳市民病院中期経営計画の策定に関すること。
- (2) 市立千歳市民病院中期経営計画の実施状況の点検及び評価に関すること。
- (3) その他市民病院の経営全般における諸課題に関すること。

(組織)

第3条 懇話会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とする。

2 懇話会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 医療関係者
- (3) 住民の意見を代表する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

3 懇話会には、必要に応じアドバイザーを置くことができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 懇話会に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、懇話会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇話会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 懇話会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会長は必要に応じて、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。
- 4 会議は、公開とする。ただし、必要があると会長が認める場合は、これを非公開とすることができる。

(事務局)

第7条 懇話会の事務局は、市立千歳市民病院事務局経営戦略室経営企画課に置く。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、会長が懇話会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成26年12月8日から施行する。

この要綱は、平成27年10月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

資料7 市立千歳市民病院経営懇話会委員等名簿(平成29年4月1日現在)

(敬称略)

区 分		氏 名	所 属 等
委 員	学識経験者	よしだ じゅんいち 吉田 淳一	千歳科学技術大学理工学部 情報システム工学科教授
		おおほら つかさ 大原 宰	北海道石狩振興局保健環境部 千歳地域保健室長(北海道千歳保健所長)
	医療関係者	さかもと たかし 坂本 孝志	千歳医師会副会長
		こへい ゆかり 小堀 ゆかり	北海道文教大学人間科学部 看護学科教授
		いとう ようすけ 伊藤 洋介	ちとせの介護医療連携の会会員
		とみなが たけし 富永 壮	千歳市北区地域包括支援センター長
	住民の意見を代表 する者	はやし とみこ 林 富子	千歳市社会福祉協議会 向陽台事業課長兼向陽台包括支援係長
		すぎうら れいこ 杉浦 玲子	千歳市女性団体協議会監事
		ほしの かずこ 星埜 和子	公募
		よこやま けいこ 横山 恵子	公募
	アドバイザー	わたなべ のりゆき 渡辺 典之	公認会計士

※この資料の平成28年度決算数値については決算見込みであり、平成29年9月に開催される千歳市議会「平成29年第3回定例会」において、「平成28年度千歳市病院事業会計決算」が認定されるまで、数値が変更となる場合があります。